各種社會問題之研究

滿洲之社會



甲子八月號

第貳卷第拾貳號

南滿洲鐵道株式會社

鐵道

營業哩數 滿洲線 一、六八六哩 朝鮮線 一、一二二哩

當社線主要驛と内地支那鐵道主要驛と鮮滿支間往復、週遊、巡遊のため船車連絡割引の便宜あり

埠頭及倉庫

大連、營口、安東、上海の各地には埠頭の設備と共に一般倉庫業をも營む

直營旅館

朝鮮

京城、朝鮮ホテル

釜山 新義州 停車場ホテル

金剛山、長安寺及避暑ホテル（自六月至十月）溫井里

滿洲

ヤマトホテル

大連、旅順

奉天、長春

大連市外

星ケ浦

石炭

撫順炭は各種工業用炭並船焚料炭として燃料界に雄飛し煙臺炭は無煙にして亦諸種の用途に使用せられ滿洲朝鮮は素より海外各地に於て顧客の需要に應する準備を有す

電氣及瓦斯

大連撫順に電氣鐵道を又大連、奉天、長春、安東、撫順に電燈事業を經營す

大連、鞍山、撫順、奉天に瓦斯事業を經營す

製鐵所及試驗場

鞍山に製鐵事業を經營し銑鐵をも產す

公主嶺に農事試驗場ありて各種農產物及び緬羊の改良をなす

大連に窯業試驗工場を有し優良なる硝子器等を製す

本社 滿洲大連市東公園町

支社 東京市麴町區永樂町丸ノ内ビルヂング内

鮮滿案内所（東京支社、大阪、下關）

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　（大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、
（大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店
電話（長七一四七番
（七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店
電話（長六五七番
（長三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生產物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

滿洲之社會―第貳卷第拾貳號（大正十三年八月發行）

●資本金貳千萬圓

●諸積立金　貳百參拾五萬五千圓

大連市大山通十一番地

株式會社　**正隆銀行**

電話代表番號七一一一番

振替貯金口座大連二三〇番

頭取　安田善四郎

相談役　安田善次郎

●定期預金利子（一ケ年）七分二厘

●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候

●當行は日本內地、朝鮮、南北滿洲、支那內地に於て約二千余の爲替取引先を有し候

●當行は關東州地方費現金並に大連市金庫事務取扱致候

●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、天津、青島

派出所（所在地）大連市小崗子（電話五三〇〇）、奉天城內

大連市濱町

滿洲船渠株式會社

本社營業所

大連市山縣通加藤ビルヂング内

電話五八五三番

旅順東鄉町

旅順工場

電話 四番 / 一八〇番

大連市濱町四十五號地

大連工場

電話 長四七一〇番 / 九六五番



營利事業と公益事業

利己心のみ旺盛にして利他心の稀薄なる個人の卑むべきが如く、營利事業にのみ專心して公益事業に冷淡なる國家、社會、都市は卑賤なり。公益事業を政府、自治機關、公共團體等の任務なりとして、一切を之に委任し、各自互に名奔利走する個人、國民、民衆、民族は卑むべき也。彼等は社會共存の理義を解せざる低級人類なりと云ふも不可なし。營利事業と共に公益事業を發達させ、相待つて進まざれば、國家、社會、都市の向上を期し難し。

滿洲の社會及び都市は或點において非常に進歩したる處あるも、其の割合に社會施設と公益事業は振はず、寧ろ甞だ劣勢なるを覺ゆ。租借地關東州と其の背後地滿洲は、新領土たる朝鮮及び臺灣と同じからざるも、鮮臺兩地の社會施設と公益事業の進みつゝあるに反し、其の社會施設と公益事業の不振なるは痛嘆に堪へず。如何に文化を高調するも、營利事業に比較して公益事業の振はざること此の如きは、滿洲開發のために甚だ採らざる所なり。

之を植民政策より云ふも、都市政策より云ふも、營利事業にのみ突進して公益事業に無頓着なるは、決して慶賀すべき事にあらず。之がために個人の人格は傷けられ、功利の徒と利權屋を跋扈せしめ、而して其の社會は極めて利己的のものとなり了らむ。外觀壯美なるも內容不備なる個人の取るに足らざると同樣、此類の國家、社會、都市は其の價値甚だ疑はし。營利事業と共に公益事業を進歩させ、一般施設と共に社會施設の發達を心掛けたし。

在滿日本人の社會的地盤

滿洲に於ける我々日本人の社會的地盤は果して鞏固であるこ言へるだらう乎。在滿日本人の數は約二十餘萬人であつて、其の大半は關東州こ滿鐵沿線附屬地こに居住し、會社及び銀行の事務員、俸給衣食者、商人こ是等の家族等が大多數を占め、勞働者は尠く、眞實の事業家、企業家、資本家なるものは數四に過ぎない。滿洲から滿鐵の事業を取除けたら後に何が殘るだらう乎。之を植物に譬ねて見るこ、滿鐵の事業は亭々たる巨木であるこ云へるが、其他の邦人事業は、會社組織のものこ個人經營のものこを問はず、概して根が淺く、幹も餘り太からず、從つて枝葉も思ふやうに繁茂せず、花が咲いても謂ゆる仇花で果を結ばぬのが多い樣である。斯んな事で在滿日本人の社會的地盤が鞏固であるこ云へる道理はない。生命は地より來るこ曾てウヰルソン氏は唱ねたが、地にしつかりこ種をおろし、それが先づ嫩葉こなつて地上に現はれ、それから地下に根を張り、徐々に幹を太らし、次第に枝葉を繁茂させ、やがて花が咲き實が成るこ云ふのが植物成育の序次であつて、根さへ鞏固で

あれば、冬季に葉が枯れ散つても、また暴風狂雨に見舞はれても、生命は少しも亡びず、春が來れば花が咲き、秋が來れば果を結び、そして益々伸びて行く。一年限りの花卉や蔬菜は兎に角、灌木なら灌木、喬木なら喬木、それ〳〵其の本質だけの發達は遂げ得られるものである。然るに滿鐵を除いた在滿日本人の事業は、悉くとは言はぬが、地下にしつかりと根を張つて居らないので、芽が萠ねても、幹枝を備ねても、成育が悪く、花が咲いても胡爪や南爪の仇花の様に結實せず、一朝風雨の變に逢へば、一溜りもなく倒れてしまうと云ふ果敢なさである。肥料とも云ふべき金融事業さへも根柢が固まつて居ない。大正八年前後の無謀なる投資企業は、當時の大勢に引摺られた結果とは申しながら、事業を爲さんがために企業したのでは無く、會社さへ製造すれば、その會社の株に何程かのプレミアムが付き、右から左へと直ぐ儲かるので、唯その爲めにのみ一夜漬けの杜撰な目論見書など作つて事業會社を濫設したのである。要するに實の成らない仇花を咲かせたのだ。斯んな事で滿洲に根生ねの堅いしつかりした生産事業の生ひ立つ筈はない。一たび反動的不況の風浪に會ふに逭んで、是等事業の大部分が根柢より覆り、救濟の見込みあるもの極めて尠く、或は瓦壞し、或は自滅し、餘喘を保つて居るものも氣息奄々たる瀕死の狀態に在るは、寧ろ當然の歸結である。斯うして滿洲における日本人の事業は大半顚覆したのであるが、それと同時に、我々日本人の滿洲における社會的地盤にも大

きな動搖を生じ、事業の消長と共に人の異動も激しくなり、非常にその集團的勢力を弱めた。數と量との集團的勢力においては、支那人の方が遙に優勢で、日本人は到底それに敵せぬのであるから、滿洲の日本人は專ら資本と智識といふ質の力で進まなければ成らないのに、無謀な投資企業をやつた結果、その資本力を弱め、智識力も從つて鈍り、今日は支那人のために旦に一城を拔かれ夕に一廓を屠らる、と云ふ狀態である。滿鐵といふ亭々たる巨木がなかつたなら、在滿邦人の事業は擧げて悉く凋落し、日本人は滿洲の社會から遂に總退却をせねばならぬやうな結果になつたかも知れない。滿洲にしつかりした根堅い地盤を建設せず、投機虛業に浮身を窶し、利權獲得に熱中し、遠き將來を期して着實にぢり〳〵地步を踏み固めて行くと云ふ堅忍力が乏しいのは、實に在滿日本人の大缺點であつて、社會的地盤の今尙ほ鞏固でないのは主として之がためである。既に社會的地盤が鞏固でないから、生產事業の不振は勿論、個人的生存の基本たる文化施設乃至社會施設も、在滿日本人の自發的協同力に依つて出來たものは極めて少く、日支人々口約十八萬の大都市大連に今尙ほ公會堂も、博物館も、美術館も、動植物園もなく、氣の利いた民衆娛樂機關さへもないと云ふ有樣である。是れ一ツは在滿日本人の多數が私利に熱中して公利公益といふ事を深く顧念せぬからでもあらう。星霜已に約二十年、而も猶ほ在滿日本人の社會的地盤が鞏固でないのは、眞に憂ふべき現象である。（芙峰）

社會施設比較

◉租借地關東州は新領土の朝鮮や臺灣に比べると面積が小いが夫れにしても社會施設の餘りに不振なのには驚かざるを得ない◉關東州の大都市大連は或點に於て進んで居り道路や家屋は母國の都市にも見られない立派なものだが案外不備な所がある◉都市に是非無くてはならぬ公會堂、博物館、動植物園、美術館もなく適當な社會教化機關も氣の利いた民衆娛樂機關もなく隣保事業も庶民金融機關も何一ツ滿足なものはない◉社會施設として先づ整つて居るのは小崗子の支那側の宏濟善堂と日本側では救世軍の事業と慈惠病院と市營職業紹介所その他一二で社會教化機關としては基督教青年會位なものであらう◉免囚保護事業も唯一ツの爲仁會だけでそれすら經營難に陥り尾見博士が非常に骨を折つた西公園の保健浴場も經營難に陥るといふ爲體である◉お隣りの朝鮮では總督府直營の外に民間有志者又は布教團體等で經營する社會事業は十五種以上に達し貧孤兒の感化養育が二十、施療救濟事業が二十三、貧民救助が十六、出獄人保護事業が二十六といふ數になつて居る◉臺灣の社會施設は殊に完備したもので此事は既に研究資料欄に掲げて置いたが別項に載せた松井法學博士の談話を見ても其の一班が窺ひ知られる◉臺灣の免囚保護事業は頗る整備したものだが公設市場も公營質屋も公設浴場も寧ろ内地のそれより一歩も二歩も進んで居る◉其他職業紹介所でも無料宿泊所でも簡易食堂でも公共長屋でも非常に整つて居り關東州などはとても其の足許にさへも及ばない◉如何に地域が狹く如何に歴史が新らしいと云つて關東州の社會施設が他に比して甚だしく遲れて居るのは心外千萬だ◉都市としての大連が公共施設に猶ほ不備な所が多いのは畢竟するに都市建設の方針が一定して居ないのと一般住民の公共心が發達しない爲めであらう◉營利的には進んだ所があるけれども公益的に進歩した所は少ない從つて社會の各方面に利己心ばかり增長する◉社會施設を整ねて都市の內容を價値付けるといふ事については自治機關たる大連市の當然考ふべき事だが關東廳も滿鐵でも今少し立入つて考ねて貰ひたい◉營利方面や妙な方面に金を出して大切な公益方面に金を出さぬと云ふ風では關東州の公益事業は未來永劫發達の望みなし。

右傾左傾

◆政黨に昔は左黨と右黨とがあつたが今日はそんな名前の政黨はない併し實質において右と左との差別はある◆我國にも王朝時代には右大臣と左大臣とがあり舊俳優には今でも左團次と右團次とあるが政黨以外に輓近には右傾派とか左傾派とか云ふものが出來た◆勢ひは兎角中正を得難いもので或は右に傾き或は左に傾くので其處に左傾派が起れば右傾派も起るといふ事になるのだ◆斯うして一方にのみ片寄らない樣にして勢ひの中正を保たうと云ふのであるが事實勢ひの中正又は中庸を保つといふ事はなか〱難ケしいのである◆最近の謂ゆる左傾派なるものは社會主義者の團體とこれに率ひらるゝ勞働團體などで之れに對する右傾派にも色々ある◆思想にも右傾と左傾とが有つて現在の我國における左傾團も右傾團も他國のやうに其の思想的背景を有つて居る◆此の外猶ほ極左黨とか極右黨とか云ふものが出來て水火のやうに相對峙する事もある◆我國の左傾團體は昨年の共產黨事件以來殆ど鳴りを鎭めて居るのみならず普選卽行の聲と共に議會主義を叫んで多少穩健化したものもある◆鈴木文治君の率ふる勞働總同盟の如きは其の著しきもので政府もその穩健化を認め普選實施後にいよ〱勞働組合を公認して其の團體權を認める事になるらしい◆然るに未だ勞働團體を公認して居ないのに國際勞働會議への勞働團體代表者を公選せしめたのは本會評議員牧野虎次氏の言はるゝ通り憾に順序を誤まつた措置と謂はねばならぬ◆勞資協調主義に依つて縱の組合だけ認め横の組合を未だ認めないのに國際勞働會議に參加したのが第一の過りである◆日露外交がグラ〱して極まらないやうに我が政府の勞働團體に對する方針も常にグラ付き通しだから困る◆政府の方針が極まらないのは最近我國の政治舞臺が走馬燈のやうに廻り動いて內閣の腰が据はらないからでも有らうと思ふ◆そこで今度の加藤內閣卽ち憲政會を中心にした護憲三派の內閣は腰の据はつた力強い政府になつて方針のグラ付きを速かに直すことにすべしだ◆左傾派が鳴りを鎭めたと同時に最近我國における右傾派の發展は素晴らしいもので米國の排日問題以來別して力強くなつた◆此內には謂ゆる暴力團體なるものが有つて伊太利のフアシスチト團を見やう見眞似に直

ぐ拳骨と腕力とで頭から遣ッ付けろと出る物騒なのもある◆内田良平君の率ふる黒龍會の如きも其の一ッで御大の内田君が柔道何段といふ猛者だから其の乾兒にも猛者連が多い◆丁度徳川覇府時代の旗下一派の白柄組か又は武士の横暴に對抗して奮ひ起つた俠客連の長脇差の樣な處がある◆此の右傾的暴力團體の一なる黒龍會の腕ッ節の强い奴が帝國ホテルに暴ばれ込んで淫蕩氣分の多いダンスを制裁したのは可い◆それは慥に一種の痛快味を覺ゐさせるが暴を以て暴に報ひ血で血を洗ふやうな事をすれば日米國交を益々惡化し却つて國家を誤まる事になるだらう◆我國の右傾團體の中で最も强力なのは全國に三萬人からの會員を有する在郷軍人會である◆田中義一大將が其の副會長となり更に伊太利ファシスチト團の謳歌者たる蜷川法學博士が在郷軍人會に參加してから此の右傾團體の勢力は遽かに强くなつた◆さうして此の右傾的團體は『英國も米國も獨國も伊國も在郷軍人を國民運動の先導としてゐるが我國も同樣に全國の在郷軍人を統一し須らく本會を國民運動の中心とすべし』と叫び◆斯うして新たに指導部を設けパンフレットや講演によつて國民の軍事思想を養成しやうと云ふ大變な意氣込みである◆穗積陳重博士の二代目と言はれる憲法學者の上杉愼吉博士の乘馬會も右傾派の一種で靑柳篤恒敎授が音頭取りをして居る軍事研究會も一戸大將以下陸軍の將星より成る恢弘會も其他皇道會とか大行社とか國本社とか云ふものも總べて右傾團體だ◆是等の右傾派は拳骨と腕力とで直接行動の遣ッ付けろ流を發揮する暴力專門の團體とは同じ右傾派でも大分異なつた所がある◆暴力主義の外に立つ右傾團體は智識階級者と軍事思想の持主とがその中心となつて居るからそれ丈け何處かに穩健な所がある◆左傾派も穩健になり右傾派も穩健になれば國家の爲めにも社會の爲めにも洵に結構な次第であるが餘り穩健になつて蒟蒻の樣になつても宜くない◆社會政策は此の右と左との中間を歩んで大中至正の道を辿らうと云ふのだから面倒だ◆惡くすると内股膏藥だの日和見主義だの生溫い不徹底派だのと毒付かれる虞がある◆王政維新當時の皇武合體黨や水戸の柳派のやうになつては社會政策もお仕舞ひだ◆右にも動け左にも動け左傾も右傾も力學上から云へば共に必要だが大中至正も亦必要だ。



社會事業としての結核豫防

醫學博士　北島多一

世界大戰亂の結果として、現今は歐洲も日本も齊しく戰爭を恐れ、之を厭ひ斥ける現象が濃厚に表はれて居る。戰爭なるものは多大の財と人命とを奪ふのみで何等幸福を齎らさない。そこで何うかして平和を確保したいと云ふので、米國華盛頓に於て列國會議を開き、各國の代表者が出席して、海軍力を制限しやうとか太平洋の和平を保持しやうとか、種々協議の末、漸く或種の條約が成立したのは洵に悦ぶべき事である。然しながら一歩を進めて廣く考察すると現時吾人の研究を要するものは獨り戰爭の問題ばかりではない。病患と言ふものは實に怖るべき人類の敵で、戰爭よりも戰慄すべきものであるから、吾人は常に此の病患と鬪はなければならぬ。國と國との戰は相手が明かに判つて居るが、病患は眼にも見ねず音も立てない病菌の侵害と鬪ふのであるから、之れは學術の力に依つて防禦又は征服するより外に途はない。曾てベーフリンケルは『結核が若し此儘で蔓延したならば非常に恐るべきものがある、國家百年の計を樹てやうとするならば先づ結核の豫防が第一である、假りに二箇國のうち、一國は結核豫防を行ひ、他の一國は之を行はぬとしたなら

百年の後には一方の豫防しない國は戰はずして自ら敗れる』と言つたが、兎に角戰爭しなくても、結核の爲めに今後榮ゐる國と滅ぶ國とが出來るのは必然の數であらうと思ふ。

斯の如く結核は實に怖ろしい疾患である。人類社會における病種は數多あるが、その一番廣く發生傳染するものを庶民病と稱し、常に社會的に存在して熄まぬのであるから、これも一種の社會病と稱して可なりである。然るに其の一番多い病患は何かと言へば結核で其の次はアルコール中毒である。酒の爲めに禍ひせられて悲觀のどん底に在るものが非常に多い。今一つは花柳病であつて、之は患者其人ばかりでなく、子孫にも害を及ぼすものである。若し男子でも女子でも此の疾に罹るときは子供が出來ない。此の三種の病は社會的疾患として最も慄るべきものである。此の外に今一つ貧と云ふ風變りの病氣があるが、之は昔から存在し而して今日は益々增加して來た。それは兎に角、結核は各種の疾患中最も悍るべきもので之が防止は人類の福祉增進上最も努めねばならぬ事である。然らば如何にして之を撲滅すべきかと云ふに、それには先づ其の原因を究め、其の原因を知つて然る後之が豫防乃至撲滅に着手しなければならぬ。例へば戰爭でも、敵狀を知ることが第一で、敵狀を知れば戰爭は最早勝利であると認めて差支ゐない。それと同樣、病症の原因を知れば之に罹らずに濟み、縱ひ罹つても輕く、比較的早く治癒されるのである。

肺病の治る病氣であることは最早世間に解つて居る。然らば結核とは如何なるもので、抵抗力は何程存ずるものであるかと言ふに、結核の抵抗力は決して他の病菌に比して强いものではない。熱度ならば湯がたぎる位の熱で死んで了ひ又日光に三四時間も曝せば死ぬる。斯く弱いものであるが唯困難を感ずるは之が乾いただけでは死なぬことである。腸チブスとかコレラとかの病菌は乾けば死ぬるが結核菌はなか〳〵死なない若し道路に吐かれた痰の中にでも菌があると、之が乾くと共に塵埃の中に混つて飛び出し、他の通行者が之

を吸ふといふ事になつて、甚だ危險であるけれども、幸ひ日光が照り付けて吳れると、强い消毒力を持つて居るから大概死んで了う。故に道路には多く痰が吐かれても其の割合に病菌が傳播しないのである。然し吐かないに越したことはない。我等が最も心配するのは屋內に吐かれた痰である。屋內に吐かれた痰の中の菌は死なない。日光の照らさぬ處では何時までも死なない。此等の事柄を能く理解して居れば肺結核は餘程免れる。日光の入る家に住むものが罹病せぬと云ふ理由は其處に在る。他の病菌も日光の直射を受けると大抵死滅するものだ。故に日光が能く通ずる家屋は健康な衞生的家屋である。此の如く結核菌は他の病菌よりも强いが又非常に弱いものである。此點を考へて防禦策を立つることが必要である。

結核豫防の方法としては、個人的豫防と社會的豫防とがあるが、最も必要なるは各自が結核に關する智識を豐富にする事である。吾人は個人としての豫防に付いて十分留意し、個人で足らぬ所は社會的の豫防施設に俟たなければならぬのであるが、それにはどんな事が必要であるかと言ふと、長い間の研究に依つて漸く解つて來た。それは歐米先進國において既に發表されて居ることであつて我國に於ても遁れずに實行して見たいと思ふ。彼の結核豫防法なる法律は、他の傳染病に對すると同一な形のものではあるけれども、其の精神において多少の相違がある樣だ。普通の傳染病に在りては、隱蔽を防ぐことや、消毒のことや、又は患者を入院せしめること抔が規定されて居るが、結核の方は救濟的精神から成立つて居る。此の病は貧困者又は中產階級に多く、此等の人々が罹つた時は一番慘害が甚だしいから、之に對する救濟が主たる眼目となるのである。資產家はたとひ結核に罹つても、金力に依つて自由に十分な治療が出來、營養も攝ることが出來るし、又勞働の必要もないから、無理に身體を使はないで濟むが、中產以下の者になるとさうは行かない。彼等は勤勞しないと衣食に窮するので疾の爲めには惡いと知りつゝも勞働する。また結核患者は十分營養に注

意することが必要であるけれども、無產階級の者にはそれが思ふ樣に出來ず、入院して十分治療したいと思つてもそれすら不可能である。貧困者にして一度結核に罹つたら實に悲慘なものである。故に結核豫防法は貧困者を救療すると云ふ意味においてするのが第一の精神となるのである。

次に結核豫防上最も重要なる施設は療養所の設立である。世人は療養所とは病院の類であらう、それが何故に必要であるか、他に何か方法がありさうなものだと言ふかも知らんが、然し此の療養所は最も有效な設備である。之は今から五十年程前に獨逸のブルータル氏が始めて提唱したものである。當時のブルータル氏は格別國民間に知られた人でなかつたので、之を提唱したる際、世人は冷評を以て之を迎ねたが、眞理は何時か花咲くもので、之を實驗して見ると、なかく〵成績が良いと云ふことが分り、ブルータル氏の名聲は忽ち高まつた。其後は獨逸國內のみならず他の歐米諸國も之を摸倣する樣になつた。療養所が設立されて以來は各國の統計が一變して、逐年增加しつゝあつた結核に因る死亡率が追々減少して來た。都會地に於ては一萬人に付三十八人、甚だしい年は三十七八人も結核死亡者があつたが、療養所の設立が盛んになつた結果、大戰前には十二人位まで減少し、各國とも略ぼ同一な成績を擧げて居る。そこで結核豫防の方法は種々あるけれども一番有效なのは療養所の設立であることを各國の學者が認める樣になつた。

然らば療養所は何故に效果があるかと云ふに、療養所は病院とは似て非なるもので、病院へ入る患者は餘程の重症者でなければ入らないが、此の療養所は極めて輕い患者をも收容する、從つて場所は海岸とか、山の上とか、林間とか、空氣の淸鮮な廣濶な地を撰んで、其處へ家をまばらに建設するのである。斯くて患者を此處へ收容するときは、食物に注意して旨い物を食はせ、運動を課し、十分日光浴を試ませ、着衣を薄くして成るべく日光を受けさせる樣にする。日光の力と新らしき空氣を存分に攝らせて天然療法を試み、藥品

には餘り重きを置かない。醫師の間では之を衛生食事的療法と言つて居るが斯う云ふ風にして養生すれば病氣が治るのは當然である。それで療養所へは患者を全快するまで置いて世話をして遣りたいけれども、さうすると迚も多數の人に及ぼすことが出來ないから、大抵二三箇月で退院せしめる。全快せずとも退院せしめるのである。そんな不徹底なことをしても何か效驗があるかと疑ふ人もあらうが、其の入院期間は僅少でも患者が一旦療養所へ入つて斯る養生法に慣れると、以前とは全く違つて非常に衛生的な人になつて出て來る療養所では酒を飲んではならぬ、夜ふかしをしてはならぬ、職業でも病氣の爲めに害あるものは其の理由を敎へて執らせない。猶ほ發熱の際には何うするとか、咯血した時には何うするとか、咯痰の處置は何うするとか云ふ風にして、恰も結核治療講習會を始めて居るやうに種々と手を竭すのである。それで一旦此處へ入つた患者は社會に出ても周圍に害を及ぼさない。患者の治療と敎育とを兼ねて施すから則ち一擧兩得の策である。此點が他の病院と異ふ所である。獨逸に於てはビズマルク時代から勞働保健局なるものを興して、之に莫大な費用を投じて居るが、それを何に使用するかと言へば、結核の傳播防止の爲めに一番多く使用して居る。そこで、此の結核防止の爲めに使用する經費を幾分でも減ずるのは保健局の利益であると云ふ意見から、百方研究の結果、依然療養所の建設が最も良策であると云ふ結論を得たので、現在では其數百箇所以上に及び、病床の數二萬程に達するさうだ。之が爲め今日では獨逸において新たに發生する結核患者は一旦皆必らず此の療養所へ入れて加療せしめることが出來る樣になつた。

療養所の效果は急速ではないが明かに統計の上に現はれて來て居る。現に患者に於ても療養所へ入つた者と入らない者とでは非常な差がある。入院せざる患者は發病後多くは六年目位に殪れて居るが、それに引代へ、入院者は大抵その三倍位存命して居るから、效果が次第に判つて來た。此事は何處の國でも同樣である

我國では當初は療養所を大都市に設立することを命じたが今日では人口五萬以上の都市には必らず設立しなければならぬことになつた。今後十年の後には總ての市邑に建設せられんことを我輩は希望する。日本の各都市に療養所が設けられた曉には現今の結核患者を半數位に減ずることは容易であらうと思ふ。尙ほ此に一言加へて置かなければならぬことは、患者を療養所へ收容した場合には、家族の生活費を政府から補給することである。縱ひ家に居つて何事も出來ない患者でも、家に居れば留守番でもする、それを入院させては困まる場合が往々ある。先般發布された法律に據ると、家族にも生活費の補給をすると云ふので、全く恩惠的慈善的である。今一つは家屋の問題である。彼の暗い家、風通しの惡い家は結核菌の巢窟になるから、そんな家には住まぬ樣に、矢張之にも金を補給して良い家の求め易い樣にしてある。此事は主に慈善の方面と調和を保つて成立して居るのである。日本では寄附等は中々出來ないが、英國邊では一人で幾百萬圓、幾千萬圓と提供する人が隨分ある。然るにさう云ふことは日本ではとても期待し難いから國費を以て經營するのである。要するに、政府及び公共團體では療養所の如き社會施設をなし、國民各自が斷乎として結核と鬪へば幾年ならずして斯病の半減は愚か撲滅をも可能なりと予輩は信ずるものである。

宗教と個人並に社會生活

衆議院議員　永井柳太郎

嘗て一時は日本においても西洋においても宗教は一見亡びつゝ有る樣に見えた時代があつた。科學者は『宗教は迷信の別名なり』としてこれを嘲笑した。ニイッエの如きも『神々は死んだ』と叫んだ。然るに今や時

代は一轉し瀕死の狀態に置かれた宗教は今再び漸く蘇生せんとし、『死せり』と叫ばれた神々は今再び新しき生命を恢復して來た。その當時と現在に於ける人心の變化の顯著なるには實に誰人も驚かざるを得ないであらう。然らば此の人心の變化を齎したものは果して何物である乎。少くとも人心にかくの如き大變化を生ずる爲には何物か偉大なる力が內的に或は外的に作用したと見るが當然である。

これに對して或人々はその原因を直ちに戰爭の影響であると斷定する。言ふ迄もなく大戰亂が驚くべき影響を人心に投げかけたのは事實である。その影響を眼のあたり見せられて驚き慄へた人心は、既存せる凡ての權威に對して懷疑するに至り、在來の信仰は動搖を來たし、その結果として、各人の懷抱せる確固たるべき人生觀はその根抵から崩壞するに至つた。舊きものに對する信仰は動搖を來たし、舊き權威に對する信念は失はれ、而も未だ新しき信仰の出でゝ自己を救ふ能はざる過渡期に際して、いはゞ在來の權威を傳統的思想の拘束から解放せられて、尙そのまゝに放任されてゐる人心が新なる信仰を求め、新なる人生觀を確立せんとして懊惱してゐる時に當つて、その憧憬要求が宗教に對する新しき形式となつて表現されるのは、寧ろ當然の事柄であつて、その點に關して何等異論を挾むべき餘地は存し得ない。然しながら翻つて考へて見るに、宗教に對する憧憬のかくの如き顯著な復活を示したのは、必ずしも歐洲大戰後に始まつた事ではなく歷史的に見てその淵源は遙かに遠く戰前に溯るべきである。而してその淵源を何處に尋ねるが最も適當であるかと云ふのに、私の考へを以てすれば、そは十九世紀に於ける科學萬能主義、物質文明謳歌主義に對する反動の致すところであると見做すのが最も正當なる見解であると思ふ。

十八世紀末からルウソー等の所謂ローマン主義の思想が世界を風靡した。卽ち知識よりも感情を尊び、學問よりも直感を重んじ、その傾向の必然的歸結として、知識の產物としての法律や制度等を冷笑し、只管に

『自然に歸れ』を絶叫したのである。此の自由民權の思想はやがて世界の到る處に革命と動亂とを喚起した然るに此の美しき名の自由民權の生んだ革命と動亂とに直接襲はれた國々は、恰も暴風に襲はれた村落の如く、その目的とする秩序も自由も生命さへも共に枯葉の如く吹き飛ばされて了つた。此の苦き經驗に依つて再び知識の尊さを知り、學問の重んずべきを悟つた。それと同時に科學に對する熱望は破竹の勢を以て勃興して來る樣になつた。こゝに近代物質文明の端緒は開かれたのである。物質文明の光輝はこの時から俄に光彩を放ち、個人も國家もその光輝に眩惑して何れも物質文明を追求することに汲々として他意なきの有樣と一變した。その結果は内には資本主義の勃興に依り、外には帝國主義の發展に依り、生存競爭は益々强烈の度を加へ、同時に個人の利已心は極度に發展し、爭鬪が激しくなり、動もすれば弱肉强食の悲劇をさへ繰り返さんとする樣になつた。世界戰爭の如きもつまりは此の物質文明の齎したる必然的宿命であつて、私達が物質主義時代に生きてゐる以上、どうすることも出來ない事實であつたのである。

然るに人間は單に物質的要求に滿足して生きて居られるものでない。衣食住のみが決して人間の全部的目的の對照とはなり得ない。斯う考へた時に既に物質文明に對する呪咀の聲を私は先づ聞くのである。卽ち人間は衣食住の外に感じ且考へることを欲する。否感じ且考ふるが爲めに衣食住も必要であつて、此の内的生活の充實に對する要求が外的生活の犧牲として永く抑壓せらるゝに堪へない結果、そこに擡頭したるものが新理想主義に對する憧憬である。オイケンやベルグソンやカーペンターやタゴール等の思想は此の新思想主義時代の曙に鳴り響く先覺者の撞く鐘の音である。かう云ふ風に考へて見ると、現代の人々が宗教を求めるのは決して歐洲大戰の結果のみではなく、所詮人間の心の奥深く絶ねず燃燒してゐる永遠の生命に對する憧憬がその發せんとするところに發したに過ぎないのであつて、偶々世界戰爭とその爲めの人心の動搖とが機

緣となつてその發展を一層促進したと云ふに過ぎないのである。

メーテルリンクの言葉に『吾等は有限の世界に樂むよりも無限の世界に泣かんことを願ふ』と云ふことがあるが、此の言葉こそ物質文明の苦しき洗禮を受けた近代の進步せる人間の痛切なる要求を代表したる言葉である。濠洲の土人を汽船のエンヂン・ルームに連れて行くと、そこにはエンヂンが猛烈なる音を立てゝ運轉してゐるにも拘らず、これに少しの頓着なく、その手にする果實を喰ふことに餘念がない。アフリカ土人中には日月と云ふ言葉だに持たぬものがある。卽ちかゝる原始的野蠻人に取つては、只管食慾と性慾を完了することがその生活の全部であつて、自己の周圍にすさまじい音を立てゝ回轉するエンヂンに對しても何等の注意をも拂ひ得ないのである。然るに進步せる人間は、卽ち謂ふところの文明人なるものは、眼に映ずる總ての世界を知らんことを欲し、その耳にする凡ての事物を理解せんとする强き慾望を有してゐる。而もその知識は有限であり能力も亦無限でない。玆に於てか煩悶なきを得ないのである。

人生は或意味から考へるときは矛盾それ自體であるとも言ひ得る。吾々の理性のみで宇宙の神祕の鍵は到底容易に吾々には與へられない。吾々は善を愛する。而かも吾々はその愛する善を實行することが出來ない吾々は利益を得んことを願ふ。然し乍ら弊害を伴はずして利益のみを得る事は不可能である。吾々は自由を欲して止まぬが未だ甞て制限せられざる自由を與へられた事はない。吾々は永遠の生命を求めて止まぬけれども甞て何人も死を脫する事は出來なかつた。實に吾々の現實生活に於ける矛盾は枚擧に遑なきの有樣である。此の矛盾を意識すればするほど人間の煩悶は增して來るのである。吾等若し神ならば煩悶は無いであらう。神は全智全能にして自己の知らんと欲する凡てを知り自己の爲さんと欲する凡てを爲し能ふ。吾等若し禽獸ならば吾等に煩悶は無いであらう。禽獸は天賦の能力に依つて充たされざる程の大なる欲望を持たない

然るに人間は有限の能力を有つて無限の欲望を追求する。こゝに人間を煩悶に陷れる一大矛盾を見る。而も一方より考へれば此の煩悶がやがて人間をして眞理を求むる心、矛盾を見極めんとする心、即ち神を求むる心を喚起するに至るのである。ソクラテスは嘗て『余は何事も知らない唯余は余の何事をも知らざることを知るのみ』と云つた。彼が自己の無知に煩悶し眞理を追求して止まなかつたその努力はやがて彼をして古今獨步の大哲人たらしめたのである。ホーロは『嗚呼我が欲する善はこれを行はず欲せざる惡はこれを行ふ惱める人なるかな』と云つた。此の煩悶こそ神を求むる心を強く刺戟しホーロをして大宗敎家たらしめたのである。此故に煩悶は人間らしき人間の特權と云ふべく、現代人が現實の生活にあるべからずとなす所の生活即ち現實と理想との間に於ける距離の餘りに甚だしきに驚き、動もすれば自ら自己の身を殺してこの煩悶から脫せんとするの悲劇を繰り返す事實は、一面において眞に氣の毒の至りではあるが、他面においては現代人が眞面目に『自己とは何だ』、『人生とは何だ』、『社會とは何だ』と云ふことに思ひを潛める樣になつて來た證據とも見得らるゝのである。此の煩悶こそはやがて大信念を生むのである。

スピノザは宇宙の本意は『唯一の大我』に歸すると叫んだけれども、その大我より出でたる無數の個性は互に相引き相戰はんとする感情を有し、その感情の餘りに强烈となるとき、個性は全體を征服して所謂本體の存在を危險ならしむるやうになる。故に我々は凡ての感情の中で最も善良なる感情を發達させなくてはならない。最も善良なる感情とは即ち世界の本體を最も良く理解したる知識に伴ふ感情である。これを一言すれば神を知り且つ愛する感情である。此の感情の發達につれて種々なる煩悶は自ら征服されるのである。文學美術においても人間の感覺のみを刺戟することを目的とするものには槪して感情の淸純なる躍動を缺くから到底大文章、大作品は望まれない。最も善良なる感情の躍動し、神人一體の心境にある者の精神は最も偉大

である。現代人が自己の煩悶に壓倒された結果は自暴自棄に陷り、或は酒色に耽つて自殺的墮落に入る、而して文學、美術、詩歌などに一代の人心を振興し興國の機運を喚起するが如き大作品の無いのは、凡て現代人の宗教心が未だ徹底的に深められてゐないところから來るのである。私は現代の日本人が宗教に對する憧憬において復活したるを喜ぶと同時に、天理教、大本教、金光教、又は西田天香氏の一燈園の生活等、此の種の宗教上の體驗において果して神人一體となるの自覺の大いに徹底したるものがあるや否やを疑はざるを得ない。然し乍ら如何に未熟なる宗教であつても、また在來の傳統的宗教であつても、とにかく宗教に對する憧憬の復活したと云ふことは、そこに幾何か迷信の伴ふを免れぬとしても、要するに神を求むる精神の切實になつた證據であるから、此の精神を益々深刻ならしめんとすれば、早晩正しき意味に於ける宗教が勃興し、日本人の神人一體の自覺が大いに徹底するに至ることを信ずるのである。

今日日本においても、西洋においても、最も重大なる社會問題は生活問題である。社會人は如何にすれば喰ふことが出來るかと云ふのが問題である。實に今日の社會においての生活は極めて困難な狀態に置かれてゐるものが多い。人間はパンのみにて生くるもので無いことは前述せる如くであつて喰ふことゝ同時に自己の爲さんと欲することを爲さんとする慾望をも滿足しなければならない。然るに今日自己の欲する種類の勞働に從事してゐるものはどの位あるであらう。自己の欲せざる職業にパンの爲めに止むを得す從事してゐるものがその大部分を占めてゐる。これが現代人の自己の仕事に對して熱心と希望と愉快とを抱く能はざる根本原因である。凡そ人間は自己の眞に要求する勞働に從事するのでなければ眞に全身全力を集中する熱心さは起らない。全身全力を集中し能はざる場合に生命の充實を覺ゆるが如きは絕無である。然るに多數の人々が斯くの如き生命の充實なき空虛なる勞働に不滿足ながら毎日々々從事してゐなければならないと云ふのは

明かに現代の社會組織及び經濟制度の不完全に基因するものである。

此の不完全なる社會組織と經濟制度がその根抵から大改革を受けざる以上は、是等の人々が不滿足なる生活を脱出して眞に人間らしき生活の充實を樂しみ勞働の自由を喜ぶことは到底出來ないのである。日本も西洋も今や此の社會組織の大改革を必要とする時代に遭遇してゐることは爭はれない。然しながら斯くの如き大改革も、社會の各個人が各自己の人格の尊嚴さを信じ、各人の個性に非ざれば果すこと能はざる獨得の使命あることを自覺してからでなければ、到底その目的を達し難いのである。その自覺の根抵ともなるべきものは即ち宗敎的信念である。基督と佛敎とはその敎義において相違はあるが共に人間人格の平等を自覺せしめた點に於て大なる功勳を認めなければならない。『萬人は神の子である』と云ひ、一切衆生ことごとく佛性あり』と云ひ、凡て人格の平等的尊嚴を認めてゐるのである。日蓮上人の『心から邪まに降る雨はあらじ風こそ夜半の窓は打つらめ』と云ふのも亦これと殆ど全く同一の意味である。

一昨年の九月一日から同五日までロンドンのブラウニングホールで開催された萬國勞働宗敎大會において世界各國から集まつた勞働運動の指導者は社會問題解決の根本義は人間を人間として待遇すると云ふことである。即ちその要求は倫理的である、その要求に對して人類同胞の意義を深刻ならしむるを必要とし、その意識を最も深刻ならしめたるものは畢竟宗敎であると云ふことに一致した。現にアーサー● ヘンダーソンの如きは彼が何故に勞働運動に參加したるかを說明して『余はデモクラシーを信ずればなり、神はデモクラシーなり、人を愛するに當り多少とも色の黑白を以てせず、故に余も亦神に倣はざるべからずと信ずればなり』と云つてゐる。又ジョージバーンスも『余の資本專制に挑戰する所以はカールマルクスの謂ゆる階級爭鬪を信せず基督の所謂人類愛を信ずるが爲なり』と云つてゐる。斯くの如く社會問題解決の要諦としても宗敎は極

めて重大なる意義を有するのである。今日個人が現實生活の矛盾より自己を解放して眞に大悟徹底の人となるが爲めにも、社會人が經濟上における支配階級の壓迫より自己を解放して獨立自活を確立せんとするが爲にも、宗教を必要とする傾向は愈々著しくなると考へられるのである。

犯罪と犯罪防止の救貧事業

京日旅順支局長　池内勝里

輓近經濟界の世界的動搖は、地球の全土をして不況化せしめ、我國の如きは殊に極度の不安に陷り、國民は一様に生活難の脅威を感じて居る。その結果として、種々の不祥事が發生し、思想は漸次惡化し、犯罪も亦多くなつた。奸智に長じたものは巧みに法網を潜り、或は公然罪惡を犯し、殊に近時に於ては强窃盜、殺人、强姦の如き犯罪が殖ゑ、從來に比し其の慘虐の度も增して來たやうである。

現在我國に於ける在監者の數は約八萬人であるが、然し之は全犯罪數の一割内外に過ぎない既決囚であつて、此外に證據不充分なるが爲めに、或は未成年者であるが爲めに、刑の執行を猶豫されたり、又は放免されたりする者があるから、是等を合計したら驚くべき多數に上るのである。滿洲でも一ケ年に於ける刑法上並びに其他の取締規則違反者は三千件で、支那人よりも日本人に犯罪者が多いことは注目せなければならぬ支那人の方は主として鴉片、賭博、富籤、姦淫の罪で、日本人は脅迫、傷害、殺人、横領、詐欺に關する犯罪が最も多いのである。是等の犯罪及び犯罪者のために國家と個人の受くる直接間接の損害は實に莫大なものであつて、每年國家としては刑事費、監獄費、警察費に對して一億圓餘の支出をなして居る。損失は之れ

のみでなく被害の損失も亦極めて甚大である。假りに此等八萬人の在監者が無いものとして、それが一日一人二圓宛社會の爲めに働いたならば、僅か一日の間に十六萬圓の富を増し得るのであるから、此の富と國家が此の方面に投ずる費用とを合したならば、如何に莫大の利益となるかは説明する迄もない事である。然るに犯罪者のために國家の富が減り、更らに一人の犯罪者を出したゝめに、殘る一家が或は物質的窮乏に陥り或は精神的苦痛のために世を厭ふて去ると云ふやうな悲痛なる事例は、謂ゆる社會の暗黒面として多々存ずるのである。そこで犯罪防止と云ふことは、如何にも陳腐のやうであるが、いつの時代にも其の必要が唱導されて居るのであつて、殊に近代に於て其の必要が益々切實となつて來たのである。仍つて私は今、一般的犯罪防止の方法を先づ簡單に述べて、それから本論に入る事とする。

凡そ人の性は善なりで、如何なる人でも先天的に犯罪の性格を具備してゐる者はない。先天的と言はるゝ者も眞に先天的なるは尠い。卽ち犯罪は何れも後天的に構成されるので、而して之が動機や原因は、例へば怠惰、虛榮、色情、怨恨、貧窮又は社會制度の缺陥といふ風に種々雜多である。

▲犯罪防止法

犯罪防止の手段は現在に於て二樣に區分されて居る、卽ち一は救貧事業、他の一は免囚保護で、更に之が方法は事前と事後の防止とに二分することが能きる。事前防止とは其名の如く犯罪の原因を除くことで、事後防止とは一度犯した罪を再び繰返さしめないと云ふ事であるが、免囚保護のことは曾て本誌上において述べた事があり、現今では貧窮に原因する犯罪が最も多數を占めて居るから、爰には社會政策の上から如何にして貧窮者を救濟すべき乎、貧窮者の救濟には如何なる方法を以てすべき乎。また貧窮の結果より生ずる犯罪を如何に防止すべき乎に付いて述べて見たい。

諺にもある通り、衣食足りて禮節を知ると云ふのが人情の常であるが、現代のやうに黄金萬能主義に流れ

貧富の懸隔が甚だしくなつて來ると、食ふに糧なく、住むに家なく、而かも頼るべき親戚知已もない貧民又は窮民が增加し、衣食足らざる結果禮節を無視し、而して多くの犯罪は此の窮乏より起るのである。彼等は生存の本能慾を滿足せしむる爲めに、貧窮した場合、適當に生活し得る途があれば格別、又死を選べば別問題だが、左うでなければ、勢ひ生きるために犯罪をなすより他に方法はないのである。貧窮民の大多數は死よりも刑罰を甘受して罪を犯し、そして投獄された後、衣食住の上に初めて生活の安定が得らるゝのであるであるから、怠惰不良の徒は、社會にありて食はずに居るよりも、監獄の方が寧ろ安住し得られると云ふ風に考へて、再三再四犯罪を繰返し、入監する事を何とも思はなくなるのである。故に貧窮に基因する犯罪を防止するといふことは社會の爲めに一刻も等閑に附されぬ急務である。滿洲では未だ此の方面において顯著な事實を認められないが、失業者の續出と世の不況と相俟つて、漸次斯種の犯罪が擡頭することゝ思はれるから、今にして是が對策を講ずるのは決して無用な業ではないのである。

▲貧窮の原因　貧窮の原因は種々雜多にして一樣でないが概して個人的と一般的とに區分し得られる。個人的原因は文字通り一人一家に亘るもので、一般的原因は一地方或はまた一國家に及び、其の範圍頗る廣汎である。で、後者のそれは主として天災地變若くは戰爭等に基づき、前者のそれは主として怠惰、無職、負債、老衰及び疾病、產兒過剩、鰥寡孤獨等がその原因である。

▲救貧方法　救貧の方法には國家的のものと個人的のものとがあり、更に之を救助すべき期間によつて一時的のものと永久的のものとに區別する。英國では『人民に救助を要求するの權利はないが、貧困にして餓死するやうな者があれば、之を適當の方法の下に救助すべきで、各市町村は之を負擔するの義務がある』として、國家的救貧政策を明かに法規の上で示してゐる。勿論此の國家的救貧の中には公共團體や財團

法人組織において行ふところのものも包含されてゐるのである。

▲國家的救貧法

救貧と云つても、現在貧窮に陥つて居るものを救濟するのもあれば、貧窮に陥らしめないやうに救濟するものとがある。何れも之れは人類の相互扶助、共存共榮の最高道德觀に立脚して發達したもので、貧者を救ふことは社會共同の責任であるは勿論、社會の安全並びに國家の幸福を增進するが爲めにも、貧窮した個人を救濟保護せねばならぬと云ふのである。

其の方法としては、一箇の建築物に貧者を收容して之を救助するもの、例へば慈惠院、養育院、授產場の如きがそれで、之れは永久的のものである、今一つは一定の場所に收容する事なく貧困者が現れた場合その貧者の所在に付いて救濟するのであつて之は多く一時的のものである。是が方法には金品の給與と職業の授與との二種がある。爰には個人的貧困の原因と其の救濟方法を單簡に述べて見よう。

A怠惰及び無職

怠惰とは說明する迄もなく俗に云ふナマケ者で、働くことを欲せないで自ら貧之を招いてゐる者、無職の方は職を探してゐるが現在未だ職にあり付かない者で、何れも犯罪の原因を爲してゐる。故に無職のものには速かに職を授け若くは職に就かしむることが必要で、殊に怠惰な者に對しては其の惡い性癖を矯正するやうに努むると共に之が就職を强制的にする方がよい。

B負債

之には種々ある。例へば事業上の失敗もあれば、災厄から蒙るのもあり、或は親兄弟の負債を相續的に受くるのもあり、そして蓄財のない者や收入の固定した者は、到底その負債償還の義務を果し得られない。稀ではあるが、出來心といふもので、是等も犯罪の原因となるから、負債に困る者があつたならば、知友が集りて醵金し一時的救濟をしたならば犯罪防止の目的が達せられると思ふ。

C老衰疾病竝に鰥寡孤獨

自已の疾病老衰によつて働くことの能きない者、親子兄弟の疾病

死亡によつて貧窮に陥る者、是等は眞に憐むべき者であるから國家的に救濟した方がより多くの效果がある猶ほ兩親の手で扶養し得られない程に過剩の兒童を有することは、これも貧困の原因であり、同時にまた犯罪の原因であるから、等しく國家の救濟機關による方がよいのである。

要するに、犯罪の中で貧困に基因するものが最も多數であるだけ、それだけ、貧窮の救濟といふことが重大な問題で、某學者の如きは犯罪防止の第一步は救貧にありとさへ極論して居る程である。それには前に述べたやうな救貧方法を完全にせなければならぬ。國家的救濟機關の充實は勿論であるが、一般人が博愛の手を以て貧窮者を救濟し、同時に質素勤勉の觀念を彼等に鼓吹し、他面に於ては、彼等の思想を惡化すべき言論興行等をも取締らなければならぬ。唯こゝで問題となるのは費用の點である。國家の支出は多岐であつて如何に社會上の重大問題とは云へ、救貧事業にのみ全力を傾注する譯には行かず、さりとて個人的救濟では個々分立する爲め充分の功果が擧らぬから、之は如何しても何等かの名目の下に特別に費用を捻出し、之を以て貧窮者救濟に充てたらよいと思ふ。かくして救貧事業が完備するならば、啻に犯罪を防止するのみならず、貧富の懸隔をも或る程度まで調和することが能きると思ふ。



愈々メートル法の實施

但し十年乃至二十年の猶豫がある

長い間使ひ馴れて來た尺貫法は愈々廢止され七月一日からメートル法が實施される事になつた然しメートル法はすべて十進法によるので呑み込んでしまへば非常に便利であるが何分尺貫法に馴れてゐるので直ちにメートル法に移ることは非常に困難であり殊に現在尺貫法のみで仕事をしてある大工とか或は農家とか云ふものには假にメートル法が呑み込めない又官廳でも仕事の性質によつて直ぐ全部メートル法に移ることが出來ないものもある例へば海軍水路部の海圖なども現在あるものを全部メートル法に直すには如何に努力しても二十五年を要すると云はれてゐるさうした事情を參酌して官公署には十年一般には二十年の猶豫が與へられてゐる。

之れに就て度量衡檢定試驗所の橘川所長は語る

「七月一日から實施するのであるが種々事情を參酌して猶豫を與へてある此の猶豫に就て誤解のないやうに呉れ〴〵も注意したい中には猶豫期間内は全くメートル法を使ふ必要のないやうに考へてゐる者が少くないやうだが之れは誤りで猶豫期間の間に十分メートル法を呑み込んで置かなければならない猶豫期間が終ればそれからは尺貫法は絶對に使用出來なくなるのであるから一般家庭でも今から出來るだけメートル法を使ふやうにしなければならない之れからは市場の商品なども次第にメートル法によつたものが賣出されるであらうメートル尺はもう何處へ行つても賣つてゐる次にメートル法の記憶の爲めに尺貫法との比較を一寸述べて見よう一メートルは半間より一割多いが約半間と記憶すればいゝし百メートルは一町より約一割少いが先づ一町と記憶してゐればいゝ一キロメートルは一里の四分ノ一、一平方メートルは一坪の三分ノ一、一アールは一畝歩、一ヘクトアールは一町歩、一グラムは敷島一本位の重さ半キログラムは一ポンド入牛罐一割增の重さ、一トンは四斗俵十六俵の重さになる先づ斯う云ふ具合に

呑込んで行けば早判りである」と。

メートル法

〔度〕

名稱	命位	尺貫トノ比較
ミクロン	一米ノ百萬分ノ一	〇・毛〇三三
ミリメートル	一米ノ千分ノ一	三・厘三〇〇
・センチメートル	一米百分ノ一	三・分三〇〇
デシメートル	一米ノ十分ノ一	三・寸三〇〇
メートル	米	三・尺三〇〇
キロメートル	千米	九丁十間
海里（海面ノ長）	一八五二メートル	一六町五〇間三尺六寸
面積 平方ミリメートル	平方メートルノ百萬分ノ一	一〇・八九〇 平方里
平方センチメートル	平方メートルノ萬分ノ一	一〇・八九〇 平方分
平方デシメートル	平方メートルノ百分ノ一	一〇・八九〇 平方寸
平方メートル		一〇・八九〇 平方尺
平方キロメートル	百萬平方メートル	〇・〇六四八 平方里
土地又ハ水面ノ面積（アール）	百平方メートル	一・畝〇・歩二五
（ヘクタール）	一萬平方メートル	一・町二五歩

〔量〕

名稱	命位	尺貫トノ比較
立方センチメートル	一立方米ノ百萬分の一	〇・勺〇五五四
立方デシメートル	一立方メートルの千分の一	五・合五四三五
立方メートル		五・石五四三五
液體、ミリリットル	一立の千分の一	〇・勺〇五五四
瓦斯體粒狀物粉狀物の量 デシリットル	一立の十分の一	五・勺五四三五
リットル		五・合五四三五
ヘクトリットル	百立	五・斗五四三五
キロリットル	千立	五・石五四三五

〔衡〕

名稱	命位	尺貫トノ比較
ミリグラム	一粁の百萬分の一	〇・毛二六六七
グラム	一粁の千分の一	二・分六六七
キログラム	千瓦	〇・貫二六六七
トン	千粁	二六六・六六七貫
寶石の重量 カラット	二百ミリグラム	五・厘三三三三

尺貫法

度量衡

名稱	米との比較
毛	〇・粍〇三〇三
厘	〇・粍三〇三〇
分	〇・糎三〇三〇
寸	〇・三〇三〇 デシメートル
尺	〇・米三〇三〇
尺（鯨）	〇・米三七八七
二尺（鯨）	〇・米七五七五
間	一・米八一八一
町	一〇九・米〇九〇九
里	三・粁九二七二
坪	三・三〇五八 平方メートル
畝	九九・一七四 平方米
段	九九一・七三六 平方米
町	九九一七・三五五 平方米
勺	〇・立〇一八〇四
合	〇・立一八〇三九
二合	〇・立三六〇七八
二合五勺	〇・立四五〇九七
五合	〇・立九〇一九五
一升	一・立八〇三九一
五升	九・立〇一九五
斗	一八・立〇三九一
石	一八〇・立三九一
分	〇・三七五 グラム
匁	三・七五〇 グラム
貫	三・七五〇 キログラム
斤	〇・六〇〇 キログラム

ヤードポンド法

度量衡

名稱	米との比較
インチ	二•糎五四
フート	三〇•四八〇（デシメートル）
ヤード	〇•米九一四四
チエーン	二〇•一一六八（メートル）
マイル	一•六〇九三（キロメートル）
ガロン	三•立七八五二
グレーン	〇•〇六四八（グラム）
オンス	二八•三五（グラム）
ポンド	四五三•瓦六
トン	一〇一六•瓩四七五

一、米を尺に値すには之れを十倍して三十二で割ればいゝ

一、米を間に直すには一割加へ三で割れ

一、瓦を貫に直名には二割引つて三で割れ又は十五で割つて四をかけよ

一、貫を瓦に直すには四で割つてそれから十五をかけよ

一、斤を瓦に直すには五で割つて三又は〇六を掛けよ

一、メートル法は總て十進法（一〇集れば一桁上る）であつて計算が容易である

注意

一、里程一町は百「メートル」餘

一、里は約四千メートルに當る

一、宅地一畝は約一アールに當る

一、郵便(三錢)は十五瓦に該當す

因みに滿鐵も內地と步調を同一にして之れが實施に努むる方針になつてあるが技術方面では大體兩三年前からメートル法を實施してゐるから今後は主として鐵道關係に於ける運賃及び乘車賃金の書替、度量衡の換算、社用工業品其他對外關係に就ての準備をしなければならぬ譯で技術方面でも從來のメートル法を實施して居なかつた箇所では着々實施するため目下其の準備中であるが殊に比較的難物と目されてゐた線路從事員の如きは案外吞みが早く大體執務上には差支へない迄に了解したと云ふことで其他の方面も着々實施さるゝ事になるであらう。

◉**暦改正答申**　帝國學士院では現行グレゴリアン歴に關する文相の諮問案に對し審議のうへ之が答申をなしたが右によればグレゴリアン暦の改正は日本において差當り必要とは認めないが國際協調の上から改正しなければならぬなら(一)各月を三十日若くは三十一日とすることを可とす卽ち平年二月は廿八日一月は卅一日で其間三日の不衡があるこれは平均さす方が好い(二)一年を五十二週とし一日若くは二日の空日(曜の無い日)を設け永久暦を設定する事を可とす右は一年三百六十五日を五十二週とすれば三百六十四日で一日餘り閏なれば二日餘る其れを空日にすると假りに本年の一月一日が日曜なれば來年もその次年も永久に元旦は日曜日となり將來の日曜日も直ぐ分つて交通頻繁な今日大いに便利であり必要である(三)年の始めを十二月廿二日(冬至)とする事を不可とす西洋では之れを主張してゐるが我邦では寧ろ立春を以て年の始めとする事を可とすると云ふのである夫れから(四)復活祭期日を固定する件は我邦は之れに觸るゝ必要を認めずと決定した之を我國政府の意見としてゼネヴアの國際聯盟本部に回答さるゝのである。

臺灣の各種社會施設

法學博士 松井茂

余は先頃二週間ばかり臺灣各地を巡察して種々なる事物を見聞し得たのであるが、今最近十年間に於ける臺灣の大勢を觀るに、人口としては大正元年に三百四十三萬人餘なりしものが三百八十三萬人餘となり、其のうち内地人は十二萬三千人より十七萬五千人となつた。耕作地も次第に發展し來り、農産物の價額は七千五百萬圓が一億七千萬圓までに增進し貿易額も一億二千五百萬圓より二億八千六百萬圓餘に達する等、生産情態が逐年順境に向ひつゝあると同時に他の方面も著大なる進歩を遂げた。

臺灣に於ける社會事業施設は、大體に於て慈善救濟、社會改良、保護敎化の三に分たれて居るが、社會改良事業と保護敎化事業の兩者は極めて最近の企てなるに反し、慈善救濟事業は清領時代より種々の名稱の下に老人の救養、孤兒棄兒の養育、窮民救助等の事業を行つて來たのである。我國の領臺當時はこれ等の方面を顧みる遑もなかつたが、英照皇太后の御大葬に當り慈善救濟資金の御下賜があつたので從來の慈惠施設を併合し、右の御下賜金を基本財産として島内二箇所に慈惠院の開設を見るに當り、現在は其數七箇所に增加し、何れも皆所在地の地方長官を以て院長と爲して居る。臺北の仁濟院の如きも

其の慈惠院の一で鰥寡孤獨等自活の出來ざるものを收容して居る。院內收容の定員は五十名で、目下四十二名を收容し、院外保護は三百名にも及ぶといふ盛況である。院の經費は明治三十一年より三十五年度までは地方費の補助を受けて居たが、今や基金總額二十三萬餘圓といふ多額に達し、之より生ずる收入年額は二萬九千餘圓に及び、漸次獨立經營を爲すに差支なき情態に進んで來たのである。

臺灣に於て特に注意を惹くものは衞生設備の完成せることで就中病院は頗る完備して居る。大正十年末の現在では官立十二、公立二十、私立八十四、計百十六の醫院がある。臺北病院長藤岡博士の談に依れば、領臺當時は衞生設備頗る不完全にして、上下水の設けなく、土人の家屋は脆弱なる粘土を以て固められ、採光の設備なく、加ふるに周圍は汚水を以て充たされ、豚、雞等が其間に出入し、その不潔さは想像以上であつた。明治二十七年には對岸廣東にペスト病が流行し、同二十九年にはそれが臺灣へ侵入し、全島へ蔓延したこともある。此の如き不潔に加ふるに酷暑の土地柄なれば、マラリア病や熱帶赤痢も全島に蔓つて居たが、總督府では各地に上下水を設け、家屋の建築法を制定し、又盛んにマラリア病の研究調査を行ひ、之が撲滅の方法を講じた結果今や市街地に於ては殆んど其の跡を絕つに至り、臺中、臺南、高雄等は市街の附近に於て尙ほ幾分の發生を見るも、之に對しては極力驅除の方法を講じつつあるとの事である。官公立病院の治療費は頗る廉價なものであつて殆んど實費診療事業の如き實績を擧げて居る。斯の如きは社會生活及び衞生上實に時代の要求に適へるものと謂ふべきである。

次には市場である。市場は殆んど內地に於ては見られない位に完備して居る。臺灣には其の初め一定の市場なく、且衞生思想に乏しき商人等は、市內到處の空地に露店を開いて日用雜貨、蔬菜類、肉類等を亂雜に並べて賣捌き、其の不潔の狀殆んど名狀すべからざるものであつたと云ふ事である。然るに明治三十三年後藤民政長官は市場及び屠殺場を公設と爲し、所要の建物は之を公共的營造物と爲し、地方廳長の管理の下に公共衞生費を以て經營することゝした。後大正九年地方制度改革に當り、之を市、街庄の管理に移し、益々之が改善を期することゝなつた。余は是まで屢々內地の市場を視察したことがあ

るが完備した臺灣のそれには到底比較することが出來ないといふことを明らかに認めた。

公設浴場の如きも內地よりは進歩して居る。北投溫泉のことは姑く之を措き、臺南其他の地方にも州市、街、庄等の經營で、次第に公設浴場の增設を見入浴者も徐々に增加しつゝある。今試みに臺中の市營浴場の成績を見るに、同所は昨年七月一日の開場に係り、建設費は七千圓を費したのであるが、目下は一日約二百五十人平均の入浴者がある。從來漸く盥に水を汲んで身體を拭ふ位であつた臺灣人も之がために次第に入浴する樣になり今日では婦人連も悅んで來ると云ふことである。其の入浴料は大人二錢小人一錢(營業浴場は大人五錢)である。

公設質屋も內地よりは進歩して居る。余は曾て東京府下の日暮里に在る武藏屋と稱する府營の公設質屋を視察したことがあるが、當時の實況と臺灣のそれとを比較すれば、臺北の方が遙かに優勢であると思はれた。臺灣では目下臺北、臺中、基隆の各市に設けあり、臺北、臺中は何れも州の經營で、臺北は大正九年六月、臺中は大正十一年四月開設せられたのである。尙ほ臺南、高雄、嘉義の各市でも目下企畫中である。今試みに臺北市の質屋に就いて見るに一日二千五百圓乃至三千圓の取引があり、質入の人數は約百六七十人を算し、內地人と臺灣人とは相半ばして居る。入質物は衣類が最も多く、利子は月一分五厘、年一割八分にして、入質期間は六箇月とし貸出金額は一人五十錢以上三百圓以下となつて居る流質は全體の八分に相當し、一箇年の經費は二萬七千圓、此のうち二萬圓が諸給與に屬する。鑑定人は五名で其他の役員と共に活動して居る。

以上述べたる各種社會事業の外、職業紹介所、無料宿泊所、簡易食堂、公共長屋等算へ來れば語るべきものが種々あるが、右は特に直覺的に余の所感を惹いたものに就いて略說したに過ぎない。余と殆んど同時期に於て臺灣を視察された生江孝之氏も其の所感の一端を或所で述べられた。其の中に『社會施設は往々其の活用に適せずして硬化するの弊に陷り易いが、臺灣の如き新領土では却つて慣習に囚はれないで、或種類のものは寧ろ非常に發達して居る』と言はれたが、余も全く之と同感である。余は此意味よりするも、臺灣の社會事業中の或者は之を他山の石として參考に供すべき價値ありと信ずるのであ

る。殊に最も看逃すことの出來ぬ問題は都市計畫で、就中臺北の道路や建築は我國内地の何れに行くも其類を見出し得られぬ位に發達して居る。

余が今回の旅行は獨り社會事業の方面のみならず廣く其他一般の施設をも視察し、且到る處に於て種種の講演を試み、寸隙なき多忙中の僅かに其の一部分の時間を割いて社會施設の視察に充てた次第であるから、隨つて視察の要點が通り一遍であつて眼光紙底に徹せぬこともあるべきは已むを得ないのであつて、此點は諒とされたいのである。

社會正義と農業者の負擔

帝國農會參事　原田雄一

爰に言ふ所の負擔とは租税公課の負擔を意味するので、農業者が農業を營む場合、何程の租税公課を取られるかと云ふのが研究問題である。目下我國では租税を別けて國税、府縣税及び町村税とし、農業者の納めるものは國税中での地租及び第三種所得税である。地租は地租臺帳が村役場にあり之れに各人所有の田畑の法定價格が記入されてある。現在の田畑の法定地價は明治六年に於ける地租改正條例に基き、明治八年より同十四年に及び、再三調査の結果各反別より生ずる農作物の前五箇年平均の時價より肥料及び種子代金として其の一割五分を控除し、更に其の殘額より公課金として之れが四割（地租三割地方附加税一割）に相當する金額を差引ける殘額を各地方に於ける當時の金利を標準として元金に換算したものである。此の地價に明治二十二年及び三十三年の二回に亙り特別地價修正を加へられたが、其の修正されたものが今日地租臺帳にあるところの法定地價であつて、此の法定地價の百分の四乃至五を國税地租として賦課するのである。

地方税は府縣税と市町村税であつて、大正十一年度に於て前者は本税一圓當りに一圓十八錢一厘、後者は本税一圓當り七十七錢四厘を取立てゝ居る。そ

れで田地一反歩に對し凡そ何程の租税を徵收せらるるかと言へば、地方税の重要なる部分を占むる戸數割及び戸數割附加税の田畑負擔額は之を算出すること困難であるから、此等を除けば、國税二圓十六錢道府縣税一圓二十七錢、市町村税四十一錢、合計三圓八十四錢となり、畑一反歩に對する國税は六十一錢、道府縣税三十三錢市、町村税十二錢、合計一圓六錢である。以上は大正八年の決算に依つたものである。戸數割及び同附加税は、大正十年に於ては一戸當り平均市區十二圓九十一錢、町村二十二圓二錢である。更に人口一人當り公租負擔額は、大正八年においては國税十三圓四十二錢、府縣税二圓六十錢市町村税四圓十錢、合計二十圓十二錢と云ふ計算で此の負擔は決して輕くないのである。

次に斯くして取立てらるゝ農業者の租税は、之を商工業者のそれと比較して見て如何であるかと言ふに、先年大藏省が議會の豫算委員會において發表したものは實に左記の如くであつた。

△農業と營業との收益百圓當公課比較

種別		國税	地方税	計
農業	其一	三、五七円	七、六〇円	一一、一七円
	其二	三、三二	七、〇五	一〇、三七
	其三	三、三五	七、一二	一〇、四七
營業	物品販賣業	四、七三	四、四七	九、二〇
	製造業	三、五一	三、三二	六、八二

之を大體から觀察すれば、國税に付いては農業者の負擔輕く、地方税に付ては農業者の負擔重く、又總計に於ては農業者が商工業者に比して負擔が重くなつて居る。同じ收益百圓ある場合に農業者が租税を多く徵收せらるゝのは理由なき事である。

社會正義とは近時法律學者の唱へる術語であるが之は昔の言葉の十目の見る處、十指の指す處、是れ巖なりと云ふ思想を表はしたものであらう。凡そ租税は社會正義に基いて賦課せられなければ如何に少額の税でも國民は必らず不平を訴へる。例へば村役場の助役が日光を見物するから一錢宛税を出せよと言つても誰も出す人はあるまい。成程日光を參拜して見物することは、役場の助役だけには正當な有益な事であらうけれども、それは社會全體の正義を基としたものではない。之に反して租税が社會正義に基いて取立てらるゝならば、如何にそれが重税であつても、國民は喜んで之を納めるのである。現に彼

の日露戰爭當時には、戰時財政の危急を救ふ爲め非常特別税法を設けて、地租は地價の百分の三・三であつたのを一躍百分の五・五に增加せられたにも拘らず、全國の農業者は國家危急の秋に臨んで奉公の誠を效したのである。然も此百分の五・五たるや、平時に於ける百分の五・五とは性質を異にし、田を耕す壯年の人は皆戰役へ出て了つて、後に殘つた女子共が働いて納めた血の出るやうな百分の五・五であつた。それでも國民中一人として不平を洩らす者が無かつた。そは要するに此時の租税が社會正義の觀念に基いて徵收されたからの故である。

然らば今日農業者の租税は社會正義に基いて賦課せられて居るかと言ふに決してさうでない。國家は更に一層農業を保護しなければならない。農業者の負擔を輕くしなければならない。それには農業者自らが先づ覺醒して能く農村の事情を理解した人を自分等の代表者とし衆議院へ送るべきである。それが農業者の取るべき當然の道だ。兎に角此際日本全國の農業者はその自覺を新にして益々農村振興の爲めに努力せんことを希望せざるを得ない。

藝術も亦革新の時代

片田江全雄

思想又は藝術の本質は如何なる天變地異があらうとも社會的大變動があらうとも根底から變化するものではない。思想又は藝術の精髓は時間的にも空間的にも決して變るものではないのだ。

然しながらバーナード・ショオが云へるが如く「新しき時代には新しき哲學を生む」ものである。然しそれは生むべくして生れるものではなくして生むべき要求に迫られて生れるものである。即ち物の見方感じ方が社會の變轉によつて常に變つて行く、そして社會文化の進展によつて新しい氣運が作られるのである。その氣運はその時代の藝術に結晶されて舊時代の藝術に對抗する所の新藝術の主張を生む。こ

の事は既に文學史上に現はれた文學上の反抗主張として知らるゝ通り、古典主義から浪曼主義への變遷又浪曼主義より現實主義への移動の如きものである實にその時代に適應する又その社會組織に相應する新藝術の生れるのが自然である。例へばルネッサンスに於けるミケルアンゼロやダウヰンチの大かゝりの藝術と、近代のセサンス、ゴツホムンク等の小藝術とから受ける力の深さ大きさにおいて何の變りがあらう。焦急な近代生活者が短篇に一幕物に親しんでゐるのもまた時代の人とその藝術との間に如何に機微なる約束があるかを知るに十分だ。かくの如く時代と藝術とは常に必らず密接してゐる。

ところが日本の現在の文藝はどうかと見るに、大地震前と後の間に急激な社會的大變動があつて、災厄後の人心は人生に對する見方も社會に對する見方も甚だしく變轉して、今や國を擧げて復興の氣分に漲られてゐるのに、思想界及び文藝界は舊態依然たりである。創作界のみ見ても正宗白鳥、菊池寛、芥川龍之介、里見淳などが依然として日本の文壇を代表する大雜誌に頭を並へてゐること茲數年間であるこゝ數年間と簡單に云つて了へばそれ迄であるが此の數年間には如何に我が日本が急變した事であらう彼の歐洲大戰亂が收まつた前後の日本文化は是迄になきブルウジア文化の華が燦爛と輝いて或意味での黄金時代であつた。その一方知識階級が擡頭してソシアリズム、サンジガリズム、インタナショナリズム等の運動が起り、文壇はプロレタリア文學とブルジョア文學の二派に分れて劇烈なる爭鬪戰が行はれた。恰も此時未曾有の大地震に襲はれ、三百年間の帝都の文化は俄然として崩壞され、十數萬の生靈が黑焦になつて行く鼻酸なる光景をまのあたりに吾々は目擊して、肌に粟したのではないか。そして物質文明の手頼りなさ人間の運命の儚さと共に人力の弱さの程度とを發見したのではないか。

斯の如く社會的大變動のあつたにも拘らず、ジャナリズムの弊とは云へ、日本文壇の代表者が前記の人々であるとは何んとしても情ない氣がする。端的な物の云ひやうを許されるならば、彼等の藝術品が果して現在の民衆に如何なる感銘を與へつゝあるか換言すれば、如何程の刺戟を與へ得る丈の惱みと歡喜とを彼等はもつてゐるのだらうか。苟めにも彼等は藝術家を持つて自任してゐるであらう、既に藝術

家である以上、も少し生命慾に燃ゑてゐべきである現實の事に對して根強く則する心卽ち眞に生きんとする人の持つべき力が强かるべきである。所が彼等は單に如何なる作品を生むべきか如何なる技巧を要すべきかと云ふ根本を離れた枝葉の事にのみ腐心してゐるやうに感じられる。一言にして盡せば彼等は皆通俗短篇小説家以上に出てゐないのだ。

この既成文壇に對して私は憤りを感ずる、反抗を持つものである。私は新進作家と稱せられる輩の作品に希望をもつたのであるが、これ又先進の謂ゆる大家流行作家の後塵を踏襲してゐる丈で、本質的には何等の新しいものを持つてゐないのを知つて失望した。彼等の作品にもハツキリした個性がない、藝術觀も確然としてはゐない。成程技巧の點では新らし味がないでもないが、それが藝術品としてはどの位の價値あるものであるかと云へば、既成文壇に對するそれの如く、是等にも十分の不滿と輕蔑とを感じない譯にゆかない。この不服と輕蔑とは終に新人の胸に鬱勃たる反抗の精神を醸すに至つた。反抗主張の精神は茲に新藝術の運動となつて現はれたのである。卽ち藝術革新である、藝術運動である、提換言すれば、既成文壇への反逆である。

吾々は既成文壇の後塵を拂つて眞に自己の上に立つた藝術家であらねばならぬ。そして純一なる眞面目なる眞實の探求者となつて、現實の事實に飽くまでも拘泥して行く心、要するに眞に生きんとする惱み苦みの心に耐ゑて生き拔かんとする生命慾の强い藝術家であらねばならぬ。吾々はこゝを出發點として民衆へ出づべきである。是は吾々が藝術運動の宣言である。『野に聲なし』『新人の出現を待つ』の聲を聞くこと實に久しいのだ。今は他人の出現をまつ時ではない。吾々が以上の精神をもつて奮ひ起つて新藝術の提供者とならねばならぬ時である。

眞に堅實な道を步まんとする同士あらば吾等と共に相呼應して進んで欲しい。吾々は既成文壇に反抗する力ある新人の糾合を欲してゐる。これは唯單なる文壇への反逆に止まらず我か日本の文藝界に新生命を與ゑる所の意義ある運動である。



滿洲社會事業研究會第二回總會

第二年度の事業と財政の狀態

滿洲社會事業研究會は七月十一日午後四時より大連市敷島町基督教青年會において第二回總會（第一回總會は發會式と同時に擧行し第二回總會は昨年七月中開催すべかりしところ別に問題等なかりし爲め見合はせたので今回を第二總會とした）を開催し金子會長、牧野、村田、貝瀨、香山、柴田、神成、邊見其他の評議員諸氏の外に柳元、小野、其他の贊助員諸氏及び普通會員諸氏集まり金子會長議長席に着き山田幹事長は二年度事業並びに同年度會計の報告と其の內容について詳細に說明する所あり評議員は全部從前通りとし缺員については便宜會長において推薦のこと來會者一同の承諾を得て滯りなく總會を終了した二年度事業の要目は第二回報告書の內に記載してあるが猶ほ會のため之を記せば

一、十二年七月二十一日と八月二十日の兩回に亙り大連市內外の各種社會事業團體代表者の協議會を開いて團體聯盟組織のことを取極めた。

一、東宮殿下の御慶事に際し折柄上京中の金子會長より滿洲における優秀なる社會事業にも恩典あらんことを宮內大臣に懇談し一方今副會長は關東廳に事務總長を訪ふて之を申入れた。

一、十二年七月二十四日折柄來連の社會學者高田保馬博士を請じて茶話的懇話會を開いた。

一、母國關東地方震災直後の十二年九月五日『此際國民の守るべき義務』五箇條を記した宣傳ビラ一萬枚を自動車にて大連市內外に撒布し漏れたる所には戶別配達をなし猶ほ大阪朝日及び大阪每日兩新聞に挿入して各方面に配布した。

一、十二年十月一日、五日、九日の三回に亙りて特別評議員會を開き時間嚴守、冗費節約、貯金奬勵質素實踐、贈答簡略、虛禮廢止、浪費愼戒等凡そ八箇條より成る生活改善事項を議決し之を二萬五千枚印刷し關東州管內及び滿鐵沿線主要地の官公署、學校、會社、銀行其他の公私團體に配布し別に會長の通牒文を添へて實行を求めた。

一、母國關東地方の震火災に對する滿洲各地日支人

の義捐金約八十萬圓を以て內務省の臨時震災救護事務局に交涉のうへ罹災地の窮民、貧民、孤兒等を收容する社會的農牧植民事業を起さんとの牧野評議員主唱の下に山田幹事長は先づ義捐金取扱所各代表者の賛同を求め一方兒玉關東長官にも事情を陳じて極力運動したるも時既に義捐金送附濟みの後なりし爲め遂に成功しなかつた。

一、東京巢鴨家庭學校長留岡幸助、協調會理事永井亨兩氏の來連を機とし滿鐵社會課の諒承を得て十三年三月二十七日市立高等女學校講堂において兩氏の社會問題に關する講演會を開き翌廿八日は其の歡迎會を大和ホテルに開催した。

此外尙ほ三月八日社會敎育事項に關する評議員會を開催し講演會、宣傳、展覽會、音樂會、修養會、活動寫眞、野外公衆劇及び通俗文庫等について審議する所あり此內の講演會、學術的活動寫眞、通俗文庫の三件を議決し先づ此の三項より着手する事になつたが夫れには相當の經費を要するわけで研究會現在の財政狀態では到底滿足にこれを行ひ難きため先決問題として財政の充實を計る必要あり其の決定まで暫らく之れを保留することゝなつた。

前記評議員會では右の外に青年會の組織、西公園內露天講演の開催、市の區委員をして現在以上に自治的社會的に活動せしむる方法、滿鐵社會事業の一般的延長等についても審議したが別に議決する所はなかつた猶ほ此の二年度間に研究會は實行促進のため結婚媒介所、庶民金融機關たる信用組合、生產と消費の距離を短縮して一般生活の利便となるべき社會的經濟施設についても調查、計畫、立案し各關係方面に之を送り且此間に在つて相當に努力した以上が第二年度の研究會事業の大要である。

機關雜誌『滿洲之社會』發行以外に滿洲社會事業研究會は微力ながら上記の如く間接的に種々の事に努力したのであるが經常收入は會員の減少に伴ふ公費收入減と廣告料の名義を以てする會社及び銀行の援助金が非常に減つた爲め第一年度に比し著しく減額し其の不足は相生由太郎氏の寄附や國民節約會支部の特別寄附などで補つて來たが之れでは到底研究會の技能を滿足に發揮し難いから何うしても財政補充の道を講ぜねばならぬのであつて此點は研究會當事者の最も苦心の存する所である因みに今副會長は病氣の爲め第二回總會には缺席された。

研究資料

田園都市と其の種類（下）

小川圖南

郊外都市（下）

次に郊外都市としてハムステッドと並び稱せられて居るのはヘスラウであるヘスラウはドレスデンから僅か三哩隔たつた一村落であつたがカールシユミツトと云ふ人の首唱と盡力で此地に立派な郊外都市が建設せられ獨逸田園都市の先驅を爲すに至つたのであるヘスラウの郊外都市は民間事業として生れたのであるが之を經營して居るものは建築組合である。

該建築組合は千九百九年に約四十二萬坪ほどの土地を買入れて中世風の都市を設計し最初の年に百五十棟の住宅を建設した其の住宅の中には勞働者向のものもあれば會社員向のものもあり又美術家の住居に適するものもある處が住宅が出來ると間もなく皆塞がつて終つたので翌年又復た百數十棟の家屋を增築した斯くして千九百十二年には三百餘の家屋が建設せられ住宅及び小工場に宛てられた敷地は三十萬平方メートルに達した而して一棟の家賃は年額百廿四圓から五百四圓まで〻ある日本人の從來の生活程度から云ふとチト高いやうに感ぜらる〻かも知れないがなか〳〵さうでない家屋の設備や構造などは實に行渡つたものである何の家にも必ず庭園が附屬して居る小さい家でも物置用の地下室があり又廣い臺所もある水道、瓦斯、電氣は勿論、暖房器、洗場の設備に至るまで完全して居る此等の住宅區から少し離れた一廓には家賃年額五百圓位か千圓位の住宅

の建て並んだ屋敷町がある。

　此所で家を借るには右の建築組合の組合員にならねば成らぬのであるが組合員になる爲には九十五圓許りの出資を要するヘスラウの建築組合は政府の保險資金から低利の金を借り受け之を運用して居るのであるが固より公益を目的とする事業であるから利益の如きも決して年四朱以上は配當しないことに極めて居るヘスラウの郊外都市が非常に成功したので獨逸の諸市は續々郊外都市を計畫することになつた卽ちカルルスルーヘーは千九百十一年に三萬六千坪の土地を買入れて田園都市を經營しラッホーフは同年六十萬坪ほどの土地を買入れて五十五棟の家屋を建設したソレから又ニユレンベルヒとミユンヘンもまた郊外に廣濶な土地を買取つて田園都市を建設した此等の住宅事業は市で直接經營して居るのもあり或は建築組合で經營するのもあるが其の資金の大部分は何れも市立貯金局か勞働保險廳かの低資を借入れて居る。

勞働者植民地

　それから田園都市の最一ッの種類は勞働者植民地であつて此の勞働者植民地と云ふのは大工業家が自分の工場で使つて居る所の勞働者の爲にその工場の附近に特に造築した住宅區である勞働者植民地の中で最も有名なのは英國のポートサンライトと獨逸のエッセンであるポートサンライトは石鹼の製造で世界に知れ渡つて居る彼のレヴア●プラザー會社の經營する所であつて同會社は初めバーケンヘッドから五哩隔たつた處に七萬八千坪の土地を買入れ其中の三萬八千坪を宅地に二萬八千八百坪を工場敷地に充て自分所有の模範的小都市を建設した此町は後には二十七萬六千坪に擴張されたが流石は專門家の設計したものだけあつて道路を初め町割より乃至は家屋の構造、建物の配置に至るまで樣式の變化に富み而も相互の調和を得て殆ど間然する所がない。

　レヴアプラザー會社では三千餘の職工を使用して居るが彼等と其の家族は皆此の模範的小市に居住して居る此町には教會は勿論のこと美術館もあり圖書館もあり運動場、集會場又は倶樂部より游泳場浴場、テニスコート、クリケットフキルドに至るまで慰安娛樂の設備何一ッ具らざるはなく日常の食料品を初め生活の必要品は會社の監督と注意の下に非常な廉い値段で供給せられる會社は之が經營の

為めに五百萬圓の資本を投じた之に對する一年の利息丈でも太したものである併し會社は唯家屋の修繕費と公課に相當するものゝみを家賃として借家人から取つて居るだけで資本の利子に相當する負擔などは一文も徴收しない。

　レヴアーブラザー會社の行方はつまり資本の利子等は如何でも可いから自分の使用する勞働者の家族に健全な家屋と清新な生活を與へ之に依つて彼等の身體と精神を改善し以て勞働の能率と功程を増加せんとするのである此點は前に述べたハムステツド若くはレツチウオースの如き幾分にても收益主義を加味せる田園都市とは大いに趣を異にする所である同會社の社長サー●ウキリアム●エツチ●レーヴア氏は次の如く語つた。

勤勉なる職工は嚴正なる家庭に生活して風儀正しき界限に於て其の子供を養成するの權利を有すると共に自己及び其の家族の技能を十分に發達せしめ且つ健全に強壯に長壽に生活するが爲めに有ゆる便宜を享受するの權利を有するは爭ふべからざる事なり虚弱なる兵士に戰捷の望むべからざる如く身體の不十分なる勞働者に依りて商賣の成功を期するは不可能のことなり故に勞働者の權利と云ふ點を離れて單に事業の功程といふ上より觀察するも勞働者の住宅改善は生活上極めて當然の要求なり。

　と實に工業家に此の精神あればこそ斯うした立派な事業も出來るのである日本の實業家なども チツト此の美風を眞似て貰ひたいものであるポートサンライトの田園都市の效果は直ちに勞働者の體格の上に表はれた此の直き附近の工業都市例へばバーケンヘツドやリヴアプールの十四歳になる小學兒童の身長は五十五●二インチから六十一●七インチであるのにポートサンライトでは同年齢の兒童の平均身長は六十二●二インチを示し又その體重（同年齢の兒童）は前二市に於て七十一●一封度から九十四●五封度迄で有るのにポートサンライトでは百八封度と云ふことになつて居つて兒童身體の發育上著しき差を示して居る。

　殊に驚くべきは其の死亡率であつてチト古くなつたが今より數年前の統計に據れば英國工業都市の死亡率は平均千人に付き十四人乃至十九人の割合であつたがポートサンライトに至つては僅かに千人に付き五人五五乃至十二人八七の死亡率を示すに過ぎなかつた英國ではレツチウオース、ハムステツド、ポートサンライトなどの例に動かされて過去十餘年間にバーミンガム市附近のボンウイルを始め三十餘の田園都市が創設されたが何れも相應に成功して居る。

勞働者の植民地中規模の廣大なのと設備の完全なので世界に傑出して居るのはヱッセン市のクルップ會社で經營して居る勞働者の住宅であるが之れも其の起源は千八百六十三年に同市のアルト●ウエスト●エンドと云ふ處に二百人の職工を收容するバラック建ての住宅と寄宿舍とを建設したに起つたのである然るに其前同會社が次第に隆盛に赴くに伴れウエステンドノルドホーフ、バウムホーフ、シエーデルホーフ、クローネンベルヒ、アルフレッツヴホーフ、フリドリッヒスホーフ、マーガレッテンホーフ、ダールハウゼルハイデーエムセルリッペと段々市の附近に適當の地區を選んで增設して行つたので其後二萬五千の職工と約十萬の家族は此處に住む樣になつたクルップの此の經營も亦レヴアブヲザーと同一の精神に出でたものであること勿論であつて此の世界的大工場主は職工と其の家族の生活狀態改良のため廣濶な土地を買取り專門の技術家を聘して家屋町割を研究し百方思索の結果斯る模範的の職工住宅區を建設するに至つたのである同會社の之に放資した資本も實に巨額なものである而して家屋の種類構造なども勞働者の階級及び趣向を參酌して幾樣にも區別してあるが何れの家屋にも相應の庭園があり各種の娯樂設備其他敎育、慰安、共同販賣等の設備がクルップ家の監督と後援に依て完全の域に達して居る。

尙ほ此外にもクルップの勞働植民地には獨身者の寄宿舍までも設けられて居る家賃なども極めて低廉なもので例へばアルフレッツヴホーフなどでは一棟の家屋を三家族で共同するものは各家三室のものが一年八十三圓より百五圓まで四室のものが百十圓から百二十圓まで五室のものが百三十圓から百四十圓までゝ一棟の家屋を一家族で獨占するものでも三室のものが年に九十五圓から百十圓まで四室のものが百廿五圓、五室のものが百五十圓の割合で他の區でも餘り太した差はない月十圓そこ／＼の家賃で何から何まで完備した居心地のよい獨立の一戶を借り受けることが出來ると云ふに至つては實に安いものではないかクルップ勞働者の生活こそ實に羨むべきものである獨逸の如く社會黨の勢力最も熾烈なる國に於てすら彼等がヱッセンのクルップに一指だも觸るゝことの出來ないのは要するに下層勞働者に不安不平の乘ずべきものがないからの致す所である。

目的と理想

従來西洋で行はれて居る田園都市なるものは大體右述べたやうな三種に外ならないのであるが玆に注意すべきは三者その何れたるを問はず謂ゆる田園都市そのものには一の目的、希望、理想があるといふ事だそれは外でもない極めて低廉な家賃で都會中流以下の住民に清新にして便宜な家屋を供給し彼等をして幸福と健康と近代的事業の成功とを併せ得せしめんとするのが田園都市の大なる使命である從つて田園都市の設計なるものは公益を以て其の根本義とせなければならぬのは勿論である。

然るに此頃日本の地主や資本家乃至は會社などが田園都市など銘打つていかゝはしい住宅地を設計し地代の釣上策を講じたり殆ど誘拐的に都民の吸收策を講じたりするのは實に怪しからぬ事である個人たると會社たるとを問はず營利を目的とするものには田園都市などを經營する資格はない田園都市なるものはモツト高尚にして立派な社會改良といふ大なる目的を有して居るものである東京で生れた田園都市協會なるものは相應顔の賣れて居る人々が發起して行つた事であるからマサカ純然たる營利的事業とも思へないが此等の人々が社會救濟事業の爲めに獻心的に半慈善的に其の資本の大部分を出捐して之を實行するにあらざる限り眞正の意味に於ける田園都市の建設と其の目的はトテモ之れを達することは出來まいと思ふ。

英國に於ける住宅政策

在東京　一記者

十九世紀半頃よりの機械工業の發達に伴ふ人口の都市集中にて都市住宅の不足之より生ずる住宅難は社會上由々しき問題となり英國にては勞働者住宅法や職工及び勞働者住宅改良法の實施を見、降つて一八八四年勞働階級住宅調査委員會か設けられ後六年にして一八九〇年の勞働階級住宅法、更に之

に後るゝこと十九年にして一九〇九年の住宅及び都市計畫法の制定實施を見るに至つた然るに歐洲大戰中の五年間に涉つて住宅の建設殆んど中絕した爲め英蘭及び愛蘭のみにて五十萬乃至八十萬の住宅不足を生じた（此數字は政府當局の公認する所であるが勞働黨は愛蘭を通じて百萬と看做して居る）是に於てか一九一九年七月三十一日住宅都市計畫其他に關する法律案が議會を通過して實施された勞働階級の住宅に關する法規は多數の單行法中に散在するも其の主要なるものは一八九〇年の勞働階級住宅法、一九〇九年の住宅及び都市計畫法、一九一九年の住宅都市計畫其他に關する法令にして是等の法律はその規定中に新住宅の供給、舊住宅の撤去若くは改築並びに都市計畫に關する行政官廳の權限等をそれぞ〳〵定めて居る。

前記の權限を執行する行政官廳としては地方には市町村會あり倫敦には倫敦市會及び各區會がある此等の官廳は各住宅委員會を設置し資金の借入及び租税の賦課以外住宅に關する總ての職務權限を之れに委任することになつて居る該委員會委員の過半數は市區町村會議員より成るも議員以外の者も亦之れに任ぜらるゝ事があり且委員中若干名は女子たることを要するのである以上は下級官廳の事であるが中級官廳としては郡會を以て之に充て郡會に町村會に干涉し且獨立の命令又は處分を爲すの權限を與へ郡會は公衆衞生及び住宅委員會を設置すべきことを法律によつて規定されて居る更に上級官廳としては衞生省を置き衞生省は地方官廳並に住宅を建設する個人又は團體に干涉し且その事業を監督するの權限を有する該監督の一部は下に記すが如き機關をして之を行はしめて居る則ち地方は英蘭及び威斯を十五區に分ち各區に一名の住宅委員を置き又倫敦に於ては警視廳所轄區域（市の行政區域よりも大である）に倫敦住宅委員會を設置し三名の衆議院議員を以て之れが委員に任じて居る。

新住宅の供給　一九一九年發布の法令に依れば各地方の官廳（市町村會を言ふ以下同じ）は三ヶ月以內に所轄區域內に於ける勞働者階級の住宅の不足を調査し必要と認むる新住宅供給計畫案を衞生省へ提出して其の認可を受くることを要する二以上の地方官廳が合同して一計畫を立案することも出來、衞生省の紹介あれば郡會も亦之に加はることが出來る計畫案に

は住宅の數及び種類、敷地の面積一エーカーに付ての住宅數、建築落成に要する時日及び見積經費を明記することを要する次に公益組合にして勞働階級の住宅を建設せんとするものは補助金並に貸付金の形式に於て國又は地方官廳若くは郡會の助成を受ける又個人にして住宅を建設し自から之を所有又は管理し若くは衞生省の認可を得て之を地方官廳へ賣渡し又は貸付けんとする者は一九一九年十二月に制定せられた住宅法(附加權限)に依つて國より助成を受ける倫敦市の行政區域以外に於て新住宅を供給せんとする時は倫敦市會に於て之を執行する市內各區會は其の區域內に於て新住宅の供給を執行し得るも倫敦市會及び衞生省の指示を受けねばならぬ然るに地方官廳が住宅供給の義務を遂行する能はず又は郡會をして之を行はしむるを可とする時は衞生省は地方官廳の義務を郡會に轉じ郡會又は地方官廳の力足らざる時は衞生省自ら之を行ふことが出來る尙ほ郡會は郡の使用人例へば巡査や掃除夫又は教員の用に供する住宅を直接建設するの權限を有する。

一九一九年の法律によれば地方官廳は一片稅(所得額一磅に付一片の稅を言ふか)を以て住宅資金と爲す但し衞生省が該地方官廳の支出を以て適當なりと認め且その住宅計畫は一九二二年七月三十一日又は衞生省の延期を許す時日までに實施せらるゝを必要とする一片稅を以て足らざる時は國庫より補助するのである住宅資金の借入は地方官廳及び公益組合に於ては六朱の利子を附し且地方官廳に在つては地方稅を以て之が擔保とし尙ほ地方官廳、公益組合とも五十年以內に之を償還することを要する會社及び個人に在つては利子が稍高い尙ほ公益組合に在つては一九二七年までは年々超過總額の五割その後は同じく三割の國庫補助を受ける一九一九年の住宅法(附加權限)によれば住宅を建設せんとする個人又は官廳は衞生省の定むる條例に適合するときは總て國庫補助を受けることが出來る但し該國庫補助は總額一五•〇〇〇•〇〇〇磅、住宅の大さにより一戶當り一三〇磅又は一四〇磅若くは一六〇磅を超ゆることが出來ぬ又四個以上の寢室又は建坪延一•四〇〇平方呎以上を有する住宅には國庫補助を與へない且一エーカーにつき住宅數は農業地區に於ては八戶、郡會地に於ては二十戶を超ゆることが出來ない尙ほ又地方官廳

は衛生省の認可を得て五年以後に償還すべき額面五磅、十磅、二十磅、五十磅又は百磅の地方公債證書を發行することが出來る。

一九一九年十二月十三日までに則ち新法通過後の四ヶ月半の間に衛生省に提出せられた住宅計畫は七・六〇四通卽ち七五・一七〇戸にして此中認可を受けたものは 三・〇〇七通卽ち 五九・九六四戸に過ぎない又右のうち公益組合の提出に係るもの八八通にして更に其のうち二七通卽ち 一・五六五戸は衛生省の認可を得て居る其後一九二〇年二月十四日までに 八・六七七通卽ち 一二一・六六〇戸分の提出あり其中四・四七一通卽ち一〇七・二六九戸分は認可を得て居る右のうち公益組合の提出に係るもの一一五通にして更に其中の四三通卽ち 一・八七七戸は認可を得て居る然れど一九二〇年三月に至るまでは認可を得たる住宅にして其の落を見たるもの比較的少なく而して其の多くは未着手であつた。

事業の進行遲々たるは主として次の諸點に因由する(一)地方官廳の怠慢(二)中央官廳の怠慢であるが併し此二點は比較的重要でない(三)は建築材料に關する困難で材料の不足と輸送の困難あるが爲め地方官廳は其の建築條例を寛大ならしむるの已むを得ざるに至つた又價格の騰貴も一障碍で官廳の統計によれば一九一四年より一九一九年に至る間の建築材料の騰貴は煉瓦十七割、セメント二十割、木材三十割、釘、炊事用竈等は二十五割乃至四十割に上つた(四)は勞力の不足で大戰に於て死亡又は隱退の爲め減少したるもの殆んど十萬に達したが其の多くは熟練職工である又大戰中は職工の養成殆んど中絶した斯くて一九二〇年初頭に至つては建築從業員全國聯盟の組合員十萬のうち失業給與を受けたるもの僅かに百六十四名に過ぎなかつた尚ほ活動寫眞館、料理店其他一二年猶豫するも社會的に大なる損害なかるべき建築物の建設の爲め勞力を吸收せらるゝことも甚だ大なるものであつた。

(五)前記不急建築物の建設が利潤多きが爲めに請負業者は地方官廳の建築請負を喜ばざるの傾きがあつた(六)は財政上の困難で建築費の騰貴が其の第一因である戰前二五〇磅乃至三〇〇磅で建設し得られた小住宅は今や五〇〇磅乃至一、一五〇磅を要する樣になつた一九二〇年一月二十四日までに衛生省に於て認可及び檢閲を受けたる住宅設計 九・九七八戸分のうち

都會地に在る八•六六五戸は平均七四九磅、村落地に在る一•三一三戸は平均六九九磅を要したさうだ家賃の高價も亦之が一原因で法の定むる所に依り地方官廳は其の新住宅より家賃を徴して居るが其の家賃は所要建築費の三分の二を以て基準と爲し（戰後の物價は變態的にして一九二七年までには其の三分の二に低下すべしと豫想せらる）此の結果該家賃は一週一磅より二磅四志に達するもの有るに至つた故に現行家賃値上法（戰時制限）が撤回せらるゝに於ては舊住宅の家賃も亦自から新住宅の家賃と同一に騰貴すべく舊住宅の家主は拱手して多額の不勞增加を利するに至るであらう次は資金の調達難である政府は先に總ての地方官廳をして任意に資金を調達せしめんとし後地方税を賦課すべき基本價値二〇〇•〇〇〇磅以下のものに限つて國庫より之れが資金を助成することゝしたけれども今や大小を問はず地方官廳は何れも資金の缺乏に苦しみ相率ひて之が融通を政府に要望してゐる。

　一九一九年十二月に至り如上の困難は最早放任を許さゞるに至つたので政府は住宅法（附加權限）を制定しその他種々なる對策を試み又は試みんとしつゝある今その概要を擧ぐれば住宅を建設せんとする個人に對し國庫補助を與へると同時に地方官廳をして其の管轄區內に於ける不急建築物の建設を禁止せしめ實際の經費に一定の利潤（經費に對する比例に依らず）を加へた金額を以て新住宅の建築を請負はしむる實費請負利益を採用する事とし他方公債によつて資金を募集せしめ勞力の不足に就ては政府において二萬乃至三萬の兵士を軍隊より歸休又は除隊せしめる事等である猶ほ材料の不足に對して先づ運輸機關の改善に努むること地方官廳にして自ら勞働者を雇用して住宅を建築せしむること政府が住宅國債を發行する事等に就ては未だ何等決する所がない。

　猶ほ地方官廳へ對する希望としては直接勞働者を雇用し且自己の材料及び設計を以て又は建築工組合を介して住宅を建設し已むを得ず請負業者を使用する時は前記經費請負制度に依るを可とする事と住宅建設に關し婦人顧問委員會を設置するもの少なからざれば能ふだけ精々此の傾向を促進するを可とする事との二件である。



東京方面の自由勞働者供給機關

自由勞働者の數、分布狀態、供給機關の人員供給力、其他

(一)其數並に分布狀態　東京及び其の附近における自由勞働者の大多數は木賃宿に集中せらるゝ狀態であつたが震災の爲め木賃宿の外に人夫部屋や人夫請負業者等の自由勞働者を收容すべき家屋が少なからず燒失し同時に公私設の勞働者宿泊所が增設せられた爲め自由勞働者供給機關の數並に其の分布情態は震災前に比し幾らかの變化を生ずるに至つた以下主として其の現狀を述べて見よう。

大正十三年一月警視廳の調査によれば現在市內並に接續郡部に散在する人夫供給者の數は約三百五十名で方面に依りて多少趣きを異にするも一般的には尙ほ增加の傾向がある而して其の分布情態を見るに東京市中で最も多きは深川區の三十七名で芝區の三十五名と京橋區の三十四名が之に亞ぎ何れも總數の約一割に相當し其の相合したものは市內同業者の約半數を占めて居る本所區は從來深川區と共に斯業者の最も多かつた地であるが震災後凡そ半減して現に其の業を續けつゝある者は二十二名で則ち第四位を占めて居る之に亞ぐは小石區の二十一名と神田區の十二名である從來約三十名を有し本所及び深川二區に次いだ淺草區が現在十二名で第七位に落ちたのは蓋し大火の關係からであらう淺草區と同じく十二名の第七位にあるものは下谷と麻布の兩區で次は麴町區の十一名、日本橋區の七名、本鄕區の六名、牛込及び四谷兩區の各四名、赤阪區の一名といふ順序である赤阪、牛込、麴町の各區は從來極めて同業者の少ない土地であつたが震災後勞働者の居住地並に需要地に變動を生じ麴町區は一日平均一千八百人と云ふ芝區に次ぐ優勢の自由勞働者を取扱ひ又その同業者一人平均取扱人夫數に於ても全市の第一位を占むるに至つた又郡部に於ては大體西南部に少なく北東部特に王子、南千住、龜戶方面に自由勞働者が集中した點から考へるも供給者の數は大體勞働者分布の粗密に比例するものと

判斷して然るべきを覺ゆ。

(二)機關の人員供給力　上記供給業者の職業紹介機關としての能力は各自の間に非常の相違があつて少なきものは三四名を就業せしめるに過ぎないが多きものは數百名に上り專ら自由勞働者のみを取扱ひ公設の職業紹介機關を凌駕せるものすらある更らに其の總合能力は一日平均一萬四千人を就業せしめ公益的職業紹介所の能力總計に比し優に倍加の數字を示して居る或者は公設紹介機關の設けられた結果として此等民間の請負機關は從來よりも比較的容易に人夫を招集し得ることゝなつたと或はさうかも知れない而して此等機關の能力に關し地方別的に考察するときは異例がないでは無いけれども概して市部は郡部に比して優り市部に於ても下町は山手よりも優つてゐる樣だ則ち其の一日に取扱ふ勞働者數を見るに芝區は二三四〇人にして第一位を占め麹町區(丸の內附近)の一七二六人、京橋區の一六八三人、深川區の一四二四人等之に亞いで居る總じて供給機關の能力は勞働者の分布情態と勞働消費力の多寡に比例するものと認めてい〻樣だ其の證據には例へば小石川區の如きは供給業者二十一名にして市中の第四位を占めながら其の一日の取扱人夫數は僅かに五六百に過ぎぬのである。

(三)人夫部屋の狀態　人夫供給業者中の約三分の一は各自に宿舍を有し若干の謂ゆる部屋人夫なるものを常備して居るが這は江戶開府の當時に端を發する日雇座の變遷したもので其の沿革極めて古く上記の人夫供給業者も畢竟之より脫化したものであらう現に神田區三河町に存する桝屋の如きは舊幕時代より繼續經營せるもので尙ほ此外にも數代に亙つて斯業を營めるものも少くない現在東京市中に散在せる約八十箇所の人夫部屋の總收容力は三千六百人であつて現在に於ける市中木賃宿の總收容力に匹敵し其の收容實數は一千九百人の多きに上り市內各所に散在する公私設勞働宿泊所の總止宿人員に比し僅かに少いに過ぎない人夫部屋の收容能力は百名以上を收容し得るもの四、五十名以上を收容し得るもの一二、二十名以上を收容し得るもの二六である日本橋區蠣殼町の相愛會は其の最たるもので收容能力一千五百名、現在收容實數三百五十名である以上は固定的紹介機關のみを計上したものであるが此外に尙ほ勞働現場に設けらる〻一時的移動的のものあり之

を算入するときは人夫部屋も人夫數も更に一層增すだらう。

更に其の分布を見るに東京全市中で芝區最も多く總部屋數の三分の一に相當するもの二十五箇所を有し而して其の大部分が芝浦方面に存するは自由勞働者の需要力並びに震災の影響等に鑑み自から其の當然なることが知られる芝區に續いて多いのは深川區の一一、下谷區の八、本所區の六、淺草及び日本橋兩區の各五等である震災前に小規模ながら部屋數に於て本所深川兩區に比して遜色なかつた神田區は目下僅かに三箇所の復活を見たに過ぎない次に此等の部屋人夫の業態に就き方面別に概說して見ると神田、本郷方面は苦學生勞働者多く從つて官公署若くは工場倉庫等の雜役夫と云ふやうな輕易の勞働に從事するものが多く京橋日本橋方面に於けるものは倉庫積込人夫、沖仲仕の運送業關係のもの多く芝浦方面に於ては大部分船足人夫である本所、深川、淺草方面に於けるものは土工、建築人夫等多きを占めて居る此の如く部屋人夫の業態が地方別により若干相違する結果ほ其の階級的團結心にも自から厚薄あり驛仲仕、馬方の如きは曾て組合を組織して賃金値上要求を爲した事例もある猶ほ荷揚船足人夫の如き其の作業場の一定せるものは動もすれば就業中罷業又は怠業の擧に出づることがあるので常に注意されて居る。

(四)紹介手數料其他　供給者の受くる紹介手數料、立替金元利、貸與器具の損料並に人夫部屋食費賄料其他の事情は一般に營業者の秘密に屬するので之を詳細に調査公表することが出來ぬけれども就中問題とせらるゝ紹介手數料は大體二割見當であつて或はそれ以下の事もあり或はそれ以上の場合もある金額にして言へば一般に人夫と稱せらるゝものは平均は五十錢荷揚人足は一圓內外、其他特殊のものは二圓內外を公然と或は秘密裡に刎ねらるゝが普通である樣だ人夫部屋、土工部屋に至つては更にそれが一層甚だしく土工部屋に屬する勞働者の如きは場合に依り殆んど其の賃金の全部を貪らるゝ場合すらあるとの事である。

以上は東京方面における自由勞働者供給機關の大要とその近情について述べたのであるが滿洲における苦力卽ち勞働者に對する供給上の方法とその施設は二三のものを除いて猶ほ極めて不完全であるから之を參考として今より相當の研究を遂げて可なりだ。

獨逸の勞働爭議調停及び仲裁法

參考とすべき點多々之あるを注意せよ

獨逸政府は一九二三年十月十三日の緊急權限法に基き十月三十日を以て勞働爭議に對する暫定的なる調停及び仲裁に關する命令を通過した其の一般規定は一九二四年一月一日を以て效力を發生するのである右の命令は現存の調停局に代ふるに聯邦政府勞働大臣の同意を得て聯邦各州政府に於て設置する新調停局を以てすることを規定し猶ほ此等調停局の本部及び所轄地を定むるに當つては地方間の經濟的關係に對して成るべく特別の考量を拂ふことゝなつて居る調停局は一人若くは以上の公平なる議長を使用者及び勞働者より出せる同數の審理員とから成るので議長は州政府に於て使用者組合及び勞働者組合を商議したるうへ任命し而して審理員は此等諸組合の指名しあるものを選任する。

廣大なる産業地方に對しては聯邦政府勞働大臣に於て關係州政府に商議したるうへ調査官吏を任命する（個々の爭議の場合には特殊調停者をも任命する）此等の調停吏は國家の經濟的生活に對し特に重大なる關係ある事件に於てのみ行動する或る團體協約の取極めに當り合意上の評議會（Board）の設けなきか若くは協約取極めを爲し能はなかつた場合には調停局及び調停吏は右團體協約の取極めを爲さしむるため之れに對して相當援助すべきものとなつて居る。

調停局及び調停吏は爭議當事者の一方の要求によつても又は彼等自己の發意によつても爭議に仲介する調停局の議長及び調停吏は先づ爭議當事者間に合意の成立を試むべく若し之に失敗したるときは事件を調停評議會に提出する此の調停評議會は中立の議長と調停局にある使用者側委員二名、勞働者側委員二名、調停吏及び特に召喚された同數の使用者及び勞働者より成立する若し尚ほ合意の成立を見ないときは評議會は仲裁裁定として兩當事者に對し一提案を示して一般の承認を求めなければならぬ若し兩當事者が承諾を爲したと

きは爰に始めて之を文書に認めて團體協約たるの效力を有するに至るものである裁定が法文の條項若くは協約によつて拘束力を有する場合に於ても同樣である。

右の裁定が兩當事者の承諾する所とならざるも若し其の中に含まれた規約にして兩當事者の利益を十分公平に考量したる後正當なりと認めた時又は社會的及び經濟的根據よりして其の實施せらるゝことの望ましき時は之を强制的のものと宣することが出來る又調停官吏は右調停局の仲裁裁定の效力範圍が自己の管轄地域に限られたるか若くは僅かに其の地域を超過しないものなるときは右裁定が强制的のものであるのを宣することが出來るけれども此他の場合に於ては右の權限を有するものは聯邦政府の勞働大臣のみである。

聯邦政府の勞働大臣は調停局及び調停官吏に行ふべき事務に關する一般原則を定むることが出來る然れども個々の爭議の裁定に於ては調停局及び調停官吏は獨立の行動を執り得るもので指揮により拘束されることが無い聯邦政府勞働大臣は州政府の承認を經て調停局の議事錄を調査し又文書の寫を要求し更に調停官吏の行ふ手續を監督することが出來る調停局の手續は州政府において之を監督する尙ほ調停官吏及び調停局の費用は聯邦政府の收入と各州の收入との限界が一定せらるゝ時まで聯邦政府において負擔するのである。

婦人の自治館

市民のために又社會敎育のために東京市では諸種の事業を行ひ相當成果を收めて居るが其の多くが婦人を沒却して居たので小瀧はる子塚本はま子、嘉悅孝子、久布白落實女史等の婦人市政研究會の人々及び市社會局囑託で女政客の河本龜子女史等は幸ひ上野公園が宮內省の手を離れて市に移管されたのを機會に上野自治館に匹敵する程の婦人自治館と稱するものを市の手によつて建設して貰ひたいと約三百坪の土地と工費五十餘萬圓の投資を市に献策して其の實現に奔走してゐる社會局ではさう輕々しく承諾することも出來ないばかりか復興事業に多大な費用を要することゝて到底その献策に用ひられさうもないが若し用ひられなかつた場合にはせめては三百坪の敷地を提供して貰つた上で建築費は曩に御成婚を記念に婦人市政研究會で建設の計畫あつた寄附金の募集で實現させる計畫だと云ふ。

調査紹介

大連に於ける勞働者の狀態

高橋月南

大連管内に於ける昨年中の勞働狀態に就ては大連民政署で調査中であるが、今その狀態の一班を聞くに、元來大連管内における勞働者の需給關係は頗る圓滑なため、昨年中も至極平穩裡に經過するを得たものゝ、その裏面に立到つて考察して見ると、支那人勞働者の思想は著しく惡化した點がある。滿洲に於ける事業が内地に比較して有利なのは支那人勞働者の賃銀の低廉なることゝ之等の勞働者が性質柔順にして而も體格强健能く激勞に堪ゑ得ることゝである。處が近來この特色が支那人勞働者の思想惡化と共に漸次薄らぎ來れる傾向を見るは滿洲事業界の爲めに看過すべからざる問題である。殊に昨年九月母國關東地方に大震災があつてから彼等は日本人に對し何となく傲慢な態度に出づる傾きが見ゑる。之は排日屋が彼の震災を誇大的に宣傳し、日本は富の半分を失つて再び立つことが出來ない貧弱國になつたとか、新聞では死者十萬人内外と言つて居るが其の實百萬人に近い死者があつたとか、揑造も甚しい宣傳をなし、此の惡宣傳に誤まられて日本人を蔑視し彼等勞働者までが些細な事柄にも反抗的氣勢を現はする樣になつたのは注目すべき事である。

彼等支那人勞働者は無智鈍感ではあるが一種の事大思想に富み、そして雷同性を帶びて居るから、彼等の中に不逞の徒輩があつて彼等を煽動するときは直ちにそれに雷同する。彼等が今後益々惡化すれば内地の如き勞働問題を勃發するかも知れない。現に昨年中大連に於て二三の勞働爭議を惹起した如きは確かにその半面を物語るものである。今大連市内に

於ける各種勞働者(主として支那人)の狀態を詳細に取調べて見ると凡そ左の通りである。

第一、工業勞働者狀態

(一)**油房に於ける苦力**　大連に於ける油房は近年著しく增加したので之等油房に從業する苦力も亦從つて激增した。大連にそも〳〵油房が建設されたのは小崗子であるが、同地は純然たる支那街として發達したので、市街地に工場を設置するは衞生上、保安上面白からずとあつて、全部寺兒溝方面に移動することゝなり、一面同業者保護の爲めと稱し油房聯合會の許可なくして新たに開業することが出來ないといふ制限まで出來た。然るに此の制限は五六年前に撤廢され、小崗子は勿論のこと、所謂工業地區にも油房が續々設けられ、現在それが七十軒近くに上つた。斯うして油房に從事する苦力も增加したのであるが、熟練職工は兎角不足がちなので、油房間に之が爭奪戰を生じ、之と共に勞働者も賃銀値上げを强要する樣になつた。それで昨年五月油房聯合會は之等の弊害を除去せん爲め役員協議のうへ大要左の如き規約を作つて之を嚴守する事になつた。

一、現在使用せる油工(卽ち油房勞働者)の名簿を作成して聯合會に屆け出づること
二、會員間には油工の爭奪を嚴禁すること
三、不良性を帶びたる油工は之れを解傭し其の氏名を聯合會に屆け出づること
四、現在油工の賃銀を一定すること
五、以上の規約を守らざる油房に對しては金五百圓の罰金を科すること

斯樣な規約まで設けて油工爭奪の弊を防止しやうとしたので有るが、其後財界の不況に祟られて各油房とも採算不能となり、休業するもの多く、以上の規約は事實之を活用するの機を失つた。併し聯合會では規約を廢棄したのでないから何時でも必要があれば直ちに之を勵行すると云ふてゐる。

(二)**各種工場の職工及び苦力**　大連に於ける重なる工業は油房で、その他大小各種の工業あるも、數年來の不況にて僅かに作業を繼續し居るものや、全く閉鎖せるものや、何れも氣息奄々たる有樣である從つて之等に從事せる職工及び苦力は其數寧ろ多きに過ぐる結果、沙河口滿鐵工場、滿洲船渠會社、大連工業會社等に於ける勞働者は一般に平穩であつて夫々所定以上の能率を發揮してゐる。

(三)土木建築に關する勞働者　財界不振の割合に土木建築方面の作業は相當繁忙であつた。これは經濟界の凋落と共に物價が漸次低下し、一般資本家が不動産方面に投資する傾向を生じ、且つ滿鐵や關東廳で土木建築工事を起したからであるが、其の反對に其の勞働者は常に不足を訴ねてゐた。母國關東地方に於ける震災後、大連の日本人勞働者は競ふて災害地へ向ひ、支那人勞働者は大連の不況を見越して朝鮮或は北滿地方へ出稼ぎに赴いたので、土木建築方面の勞働者は益々缺乏を來たした。併しさしたる影響はなく且勞銀の變動も見ずして昨年中を無事に經過したのは僥倖といふべきであらう。

第二、商業の勞働者狀態

こゝに謂ふ商業勞働者とは銀行、會社、商店又は個人等に使役されて居る徒弟、雜役夫及び雇傭人等を總稱したものである。これ等は他の勞働者の如く集團的でないが、その支那人の多くは概して狡猾で中には惡質のものもあり、比較的質朴な勞働者を煽動するものは之等の徒輩である。近來大連市中に頻頻として起る盜難、殺人等の如き犯罪も、之等の支那人が手引きをなし其の誘導によつて起るものが多いのは幾多の實例によつて瞭かである。

昨年滿鐵大連醫院醫師池田方に於て行はれた殺人事件は、傭ひ支那人の手引きから起つたもので、此の事件發生以來、之等使用人は一々寫眞を附して原籍、年齡、氏名等を雇主より其筋へ屆け出づることになつた。斯くの如きは大連以外には餘り聞かざる事であるが浮浪者に等しき彼等を家庭のものと同一に使用することは餘程注意すべきである。

第三、交通勞働者狀況

大連は滿蒙の玄關口であるだけ、海に陸に交通機關が發達して居り、之等に從事する勞働者も可なりの多數に上つて居る。今この交通勞働者を大別すれば乘用馬車夫、人力車夫、荷馬車夫、荷車夫、電車の運轉手、車掌、自動車運轉手、埠頭に於ける作業苦力等である。埠頭の荷役苦力を此中に入れるのは聊か妥當を缺ぐやうだが、船舶及び汽車は寧ろ交通上の最大機關であるから、之に從事する作業苦力をも交通勞働者の中に一括した次第である。

(一)乘用馬車夫　大正八年前後の謂ゆる好況時代

には乘用馬車一千臺を突破せん勢であつたが、其後の變化に彼等も打擊を受け、一時非常に增加した彼等の數も漸次減少した。殊に數年來の不況續きと一般の節約氣分とて馬車に乘るもの益々減少し、彼等も他に轉職するものが多くなつた。然し彼等の强味とする處は埠頭及び停車場等へ荷物携帶の旅客を送迎することで爰に一縷の命を繋いでゐる。

（二）人力車夫　大連管内で人力車夫としての營業許可を受けて居るものは一千五六百名に過ぎないが彼等は一臺の車臺を晝夜交代して使用するから、其の實際數は殆んど豫測することが出來ない。乘用馬車夫に比すれば稍々良好なるが如きも、これも一時の如く好況ならず、近來は別して電車に乘るものが多くなつたので、彼等の稼ぎ高は漸く其の日の生活費を得るに過ぎない樣である。人力車賃貸營業者の如きは缺損續きのため、昨年十二月乘用馬車人力車組合の決議として車臺の制限をなし、之れに依つて僅かに一條の血路を開いた程である。

（三）荷馬車夫　これは荷馬車を賃借して勞働のみに從事せるものと車馬を所持して自ら勞働して居るものとの二種があり、前者は四割、後者は六割の割合である。更に彼等の居住別を見ると、大連管内七五〇、沙河口管内最も多く九〇〇、小崗子四〇、その他老虎灘街道、寺兒溝、譚家屯等三五〇の見當であるが、無免許のものがあるので正確なる數を知ることは困難だ。彼等も財界の影響を受け、油房の休業、建築の不振、一般貨物の移動僅少の爲め收入減少し、荷馬車所有者の中には荷馬車を賣却して生活費に充當したものも尠くない。斯る狀態の爲め許可なくして營業するものも增加して來た。

（四）埠頭荷役苦力　埠頭構内の作業は一切福昌公司にて請負ふて居る。特產物の輸出盛期の時は一日一萬人以上も出動して船舶の積込みや貨車の積卸しに從事する。如何に閑散な時でも五六千名の苦力は働いて居るのであるが、福昌公司は直營だけに寺兒溝に碧山莊と稱する苦力收容所を設けて彼等をこゝに容れ、救濟施設も娛樂機關も備はり、十分に待遇してゐるので、彼等には何等の不平もなく、頗る柔順に作業に從事してゐる。尤も絕ゑず身體の强壯者を補充する必要はあるさうだ。賃銀の如きも滿鐵會社と協定が出來て居るから賃銀上に就ての爭議などは殆ど絕對にないといつて差支ゑない。

(五)電車の從事員　電車の從事員は卽ち車掌及び運轉手で滿鐵の直營だけに紀律整然たるものである日本人は監督の外數名に過ぎず、其他は全部支那人であつて、何れも一定の期間養成を加へてから實務に當らして居る。勞働者といつても人力車夫等の比較でなく、宿舍を給せられ、被服を受け、給料もさう廉くはない。若し不平を起して他に轉職しても夫れ以上待遇を受ける恰當の稼ぎ場がない。從つて問題は起らぬ。此の車掌及び運轉手には最近公學堂卒業生が多くなり、何れも十分に訓練されて居り、日本語も解るので乘客にも都合好くなつた。

(六)自動車運轉手　これは交通勞働者の高級なるもので試驗に合格しなければ從事することが出來ない。それだけ一般者から普通勞働者としての取扱ひを受けて居ない。然し交通從業者といふ廣汎な意味からすれば彼等もまた一種の勞働者であると言へやう。大連における現在の自動車は自動自轉車とも合せて一百臺内外に過ぎないので其の運轉手の數も從つて少ない。一頃から見ると餘程減つた。

(七)荷車夫　埠頭及び第二ホームと市内倉庫等の間に荷車で貨物を運搬する人夫、それが此の荷車夫であるが、荷主の命によつて一車一回幾何等の賃働きをなし、荷車は別に持主があつて之を荷車夫に貸與して居る。全くの運搬夫で別に技能を要せず身體の强壯なるものであれば誰にでも出來る。從業人員は不明であるが何れも柔順に働いて居る。

第四、勞働者の種別人數

左は民政署に於て調査したものであるが、異動の激しい勞働者であるから、絶對正確とは言はれない然し實際數に近い事だけは確實である。

種類	日本人	支那人
農業	八〇	三、〇〇〇
工業	一、五　四	一六、九三四
交通業	五八	二一、一一八
土木建築	一、三〇〇	一二、三〇〇
雜	一〇〇	二、〇〇〇
計	二、九八四	五五、三五二

以上の外に朝鮮人の勞働者が十名あつて農業に從事してゐる。婦人の勞働者は滿洲製麻會社に三十名精米所に選別工として百四十八名程居るが、之れは全部支那人である。農業勞働者として茲に計上した員數は農業に使役して居る傭人のみである。

第五、勞働者の爭議問題

昨年間に勞働者の爭議問題として當事者の手を煩はしたのは僅かに市内洗濯業職工の同盟罷業と大連油脂工業會社の油工罷業位なものである。之より前大連疊職工百數十名が賃金の協定に就いてストライキをなし、職工組合を組織したことがあつたが、その首領が職工であつたのと組合に何等の準備もなかつたとの爲め、此の同盟罷業は間もなく支離滅裂になつて了つた。尚ほ乘用馬車夫と雇主との間に絶えず衝突あるも勿論團體的行動でない爲め當局者も全く放任してある。目下は何れの方面も勞働者の供給過剩時代であるから餘り騷ぎは起らぬ。

(一)洗濯業職工同盟罷業　昨年一月中洗濯業組合に於て總會を開催し、その席上にて職工の賃銀問題に及ぼし、大正八九年の好況時代のまゝ其の賃銀が今日も尚動かないのは不當である、不況時に際し獨り職工賃銀のみ依然たるは雇主の耐ね得る處でない宜しく此際相當値下を行ふべしとの議決をなし、之を組合より各職工に通知したところ、大多數は承知したるも、高給の職工は大いに憤慨し、密々各組合職工を糾合して各所に集合し、遂に同盟罷業を決行することになり、若しこれに違反したものは體刑に處すべく申合せて結束を固め、然る後、六十餘名は小崗子に合宿して組合側の反省を求めた。

之れに對し組合側は協議の結果主謀者と認めらるもの七名を解傭し、其他の者は無條件にて復歸するを條件として彼等の所謂代表者に折衝したが、彼等の結束の容易に破れざるを見て、組合側は已むを得ず其筋に對し調停を煩はし、一方奥地より職工を募集し來る準備をなした。之れには遉がの職工側も大いに氣勢を削がれ、組合側の條件通り主謀者七名を解傭して他は全部復職した。元來職工側には平素確たる連絡がなかつたのみならず、此くの如き場合に際し、雇主に對抗し得べき何等の準備もなかつた爲め、官憲の干渉にて大狼狽をなすに至つたものである。此の職工は全部日本人である。

(二)油脂工業の同盟罷業　これは賃銀上の爭議でなく作業上の感情から勃發したものであつた。作業場の窓を開き置くは豆油搾出量に影響するとの理由で、油脂會社で其の窓を密閉して温度を高めたところ、苦力等は苦熱の爲め作業に堪ねなくなり、會社

に向つて窓の開放を主張したが、會社側で頑として聞入れなかつた爲め、彼等の態度次第に强硬となり會社側が之を苦力頭の責任なりとして之を解傭するや、一層火の手を高め、遂に全く罷業狀態となつたのである。そこで會社も非常手段として常傭油工四十二名に全部解傭の宣告を下し、一先づ强硬な態度を示し、次いで其中の優良なるものを漸次雇ひ入れたので、事件は案外に早く解決した。

玆に注意すべきは、前にも記した通り支那人苦力が近來日本人に對し反抗的態度を示す傾向の著しくなつた事である。之れは賃銀問題以外に屬する事である。殊に玆に掲げた大連油脂會社の出來事が些細なる感情を出發とした點は將來のため考慮すべき事であらう。其他二三油房に於て等しく感情上から問題を起した事もあつたが、油房の爭議に就ては既に聯合組合に於て一種の制裁規約が設けてあつたので幸ひにして何れも大事に至らなかつた。

第六、現在の勞働組合

現在大連に於ける勞働組合として認むべきものは殆んどない。彼の大正七、八、九年の好況時代に於て此種の組合簇出したが、その後何等の消息を聞かない。大連には日本人と支那人との勞働者があつて萬一日本人が罷業した場合には或る程度まで支那人を以て補充し、一方奥地或は內地より電報を以て勞働者を招致する便宜があるので、勞働者も餘り頑强に出られないのである。それのみならず、治安警察法によつて「風俗を紊し治安を破る」者は直ちに退去命令を喰はして內地へ送還することが出來るので此等の事情を熟知せずして勞働爭議等の宣傳をなすとも、何等の效を奏しないのである。七八年前大連に於て中田某が內地の勞働團體と氣脈を通じ沙河口工場に勞働爭議の火の手を揚げかけたが、忽ち退去處分を受けて內地へ追放され、一溜りもなく破れて了ひ、その當時に作られた勞働團體は殆んど消滅し現在は僅かに工友會といふ名の許に全く去勢された團體が殘つてゐるに過ぎない。日本人は人數に於ても團結力に於ても薄弱であるが眞に勞働問題として注意すべきは支那人勞働者の將來である。彼等の慾望も增進しつゝあるから何時までも低廉な賃銀に甘んじて唯々として働くものと思ふと當が違ふだらう大連以外の各地に支那人勞働者の同盟罷業が時々起

る事から考へても油断すべきでないのを覺り得べきであらう。識者は心して可なりである。

滿洲結核豫防會總會と萬國赤十字總聯盟結核委員會決議

社會施設と社會敎育の必要を特に力説す

滿洲結核豫防會總會は六月二十八日旅順博物館内に於て午後二時より開會した。副會長中山關東廳警務課長議長席に着き、藤原衞生課長の事業報告、黒井技師の會則改正提案等ありたるが、會則改正の要旨は會員種別の徽章制定で、提案通り決定し、夫より滿鐵衞生課長醫學博士金井章次氏の講演ありて閉會した。尚同博士は總會出席者に對し參考として左記印刷物を配布した。（柴田評議員報）

萬國赤十字總聯盟結核委員會決議

千九百十九年四月佛國カンヌに於て開催されたる萬國赤十字總聯盟は同會に於ける結核專門家の決議事項として左の宣言を發表せり。

一、結核豫防會においては次に掲ぐるところの事項を以て根本的必要事項と認む。

(a) 適當なる範圍に於て結核施療所を設くへし該施療所には早期診斷の爲め必要なる試驗室及び設備を施し。之に專門醫を置き、尚ほ訪問看護婦を配して患家に必要なる注意、補助、敎訓並に忠告を與へしむ。訪問看護婦は其際殊に幼童に對して緊要なる所置を施すべし。

(b) 學校兒童に對し早期結核を發見する目的を以て正規的に學校視察を爲すこと。

(c) 急性、第三期結核及ひ死期にある肺結核患

者に對し適當なる範圍において病院療法を施し努めて其の傳播の機會を尠なからしむ。

（d）適當なる患者に對するサナトリウム設備。

（e）結核の原因及び之が豫防に關しては適當なる手段を以て適當なる團體に由つて持續的普汎的に出來るだけ社會教育を行ふこと。

二、結核症が人民の一般的生活及び勞働狀態と密接なる關係を有するは瞭かなり從つて是等狀態の改善の爲には立法的處置に出づるの要を認む。卽ち兒童保護、住居問題、淸潔法、榮養及び飮酒問題は相關的の重要事項なり。

三、結核の傳染を豫防する目的を以て牛乳取締に關する特別施設を必要とす。

四、結核性體質兒童及び疑似兒童に對する開放學校を設置すべし。若し夫れ急性患者を家庭より隔離し能はざる時は家庭傳染を防ぐ爲め兒童を田園の健康なる地に送り而して其處の家庭或は特殊の養育院に移すの手段を執る事とすべし。

五、バラック、孤兒院、工場、集治檻等多人數密集生活する者には戸外運動を奬勵すること。

六、經驗上結核症の各期を通じて愼重なる監視の必要なること瞭かなり從つて各種の對結核施設（施療所、病院、サナトリウム等）は其間之れに對して出來るだけ密接なる協調を保ち更らに醫學的指導の下に社會的事業の發達を希望す。

七、科學的權威なき世俗の謂ゆる單なる治療法を利用することに因つて結核患者は大なる危險に陷ることあれば此點は留意せざるべからず。

八、患者をして適當なる狀況の下に一定の勞作に從事せしむべき設備を施すは殊に甚だ困難なる事業なれども農業又は特殊集落乃至は適當なる產業場を醫師監督の下に施療所、サナトリウム等と相聯結して設立せしむことを勸告す。

九、結核傳染の分布狀況に關する正確なる知識は當局者の對結核方策の根本的準備となる。
結核患者の屆出に就ては適當なる法規を以て衞生當局に屆出でしむる方針とすること。

一〇、結核に關する學術的研究と結核の流行及び分布に關する情報蒐集の必要なることに就き一般の注意を喚起するやう努力すること。

滿洲主要都市に於ける勞働賃銀

大連、奉天、哈爾賓との日支人勞働賃銀の比較

東拓の調査に係る滿洲主要都市（奉天、大連、哈爾賓を各地方の代表地として）の勞働賃銀趨勢を見るに、日本人に於ては大工、左官、石工、ペンキ職瓦職、鍛冶職の六種は奉天が最も高く、木挽職及び雜人夫の二者は大連が最高で、煉瓦職のみは奉天と大連とは同額である。之を總括するに、哈爾賓は總てを通じて一番安く、大連は中庸にあり、奉天が一等高い事になつてゐる。支那人に於ては大工、左官の二種は哈爾賓が最高位に、石工、煉瓦職、瓦職、鍛冶職の四者は大連が最も高い。哈爾賓は調査未了の職業が多いので、他と完全な比較は出來兼ねるが大工及び左官の率から見るときは最も高いことを知るに難くない。大連で最も安いのは木挽である。此の日支人兩者を對照し見るに、全く反對の現象を呈し、日本人は奉天が一番高く哈爾賓が一番安いのに支那人は哈爾賓が一番高く奉天が一番安く、大連は兩者とも其の中庸に位してゐる。今其の詳細を表示すれば實に次の通りである。（單位圓）

滿洲主要地勞銀表

職業別		奉天	大連	哈爾賓
大工	支那人	一、二〇	一、一〇	一、七一
	日本人	四、〇〇	三、五〇	三、三〇
左官	支那人	一、三〇	一、五〇	一、七〇
	日本人	四、五〇	三、八〇	三、三〇
石工	支那人	一、三〇	一、五〇	—
	日本人	四、〇〇	三、八〇	二、五〇
木挽職	支那人	—	一、一〇	—
	日本人	—	二、九〇	二、〇〇
煉瓦職	支那人	一、二〇	一、三〇	—
	日本人	三、五〇	三、三〇	—
ペンキ職	支那人	一、二〇	—	—
	日本人	三、五〇	—	—
瓦職	支那人	一、三〇	一、六〇	—
	日本人	四、〇〇	二、八〇	—
鍛冶職	支那人	一、二〇	一、五〇	—
	日本人	四、〇〇	三、二〇	一、八〇
雜人夫	支那人	—	一、五〇	—
	日本人	—	二、一〇	〇、八〇

次に滿洲における勞銀總平均と朝鮮の代表地としての京城と支那の代表地としての青島の夫れとの三者を比較對照し見るに、(上海は大工と石工のみで他は不明に就き青島を支那の代表地としたのである)支那人は何れの職業も全部青島が最も安く、次は滿洲で、京城が最高である。日本人に於ても青島は總てに渉つて最も安いが、京城と滿洲との比較に於ては大工のみが滿洲が高率で、他は全部京城の方が高くなつてゐる。之を要するに日支人とも青島が一番安く、滿洲は第二位で、京城が一番高い。今詳細なる滿鮮支勞銀の比較對照を表示すれば左の如くである。(單位滿洲及び京城は圓、青島は銀圓)

滿鮮支勞銀比較表

職業別		滿洲總平均	京城	青島
大工	支那人	一、四〇	二、〇〇	〇、七七
	日本人	三、六〇	三、五〇	二、五〇
左官	支那人	一、五〇	二、五〇	〇、九〇
	日本人	三、八七	四、〇〇	三、〇〇
石工	支那人	一、四〇	二、七〇	〇、八三
	日本人	三、四三	四、五〇	三、二五
木挽職	支那人	一、一〇	二、二〇	〇、八〇
	日本人	二、四五	三、八〇	二、五〇
煉瓦職	支那人	一、二五	二、〇〇	〇、九〇
	日本人	三、五〇	三、八〇	三、〇〇
ペンキ職	支那人	一、二〇	—	〇、八〇
	日本人	三、五〇	—	二、四〇
瓦職	支那人	一、四五	—	—
	日本人	三、四〇	—	—
鐵冶職	支那人	一、二五	二、五〇	〇、九〇
	日本人	三、七五	四、五〇	三、〇〇
雜人夫	支那人	一、五〇	〇、九〇	—
	日本人	一、七〇	二、九〇	—

註(一)京城には別に鮮人勞働者あり內地人と支那人との中傭に位す卽ち大工(二•五〇)、左官(二•八〇)石工(三•〇〇)木挽職(三•〇〇)煉瓦職(三•〇〇)鍛冶職(二•六〇)雜人夫(〇•九〇)仲仕(一•八〇)である(二)上海に於ける勞銀中大工及び石工に就いて之れを見るに各國人とも大工は〇•六〇元、石工は〇•五〇元の割合てある。



信濃町第一市場の日掛積立會

將來は一廉の金融組合となるだらう

大連市信濃町の第一市場にては御成婚記念事業として各戸に日掛積立をなすことに決定し既に實行してゐる。今その狀況を聞くに、同積立會の加盟者は日本人のみにて魚類部、食料部、外部の三部に分ち魚類部は日掛一口金五十錢、外部及び食料部は同じく一口金三十錢とし、其の口數は各戸の隨意であるが、普通は一戸で五六口、多きは十口を持つて居るのもある。三部の戸數は五十六戸で、その日掛金高は約六十圓に當り、六月末まで九千圓近く積立てられた。一ヶ年で約二萬一千六百圓になるから、之を向ふ五ヶ年間繼續すると、五ヶ年後には積立元金のみで約十萬八千圓餘に達する。集金の方法は二口の所有者には二日間、十口の所有者には十日間の猶豫を與へ、そして集金した金員は全部銀行に預金して絶對に貸出をしない事になつてゐる。

此の積立會に就いて一組合員は語つて曰く『本積立會を組織するに至つた動機は、昨年九月關東地方の大震火災で一般財界が緊縮した計りでなく、大連の經濟界は益々不況に陷り、何時恢復するか殆んど見當付かず、前途不安に堪ねぬものがあるから、此際市場商人も大いに自重するの要ありとし、有志者協議の結果、御成婚記念事業の一つとして發案されたのである。日掛積立會は趣旨として貸出をなさぬ方針であるが、近來銀行の警戒嚴重を極め、幸ひに金融の便を得ても金利に追はれると云ふ始末なればこの秋の仕入期には幾分融通を計らうかとの話もある。併しそれは勿論組合員一同の承認を經ねばならぬ事である。現狀のまゝで滿五ヶ年を經過せば、元利合せて十數萬圓の積立金を得る事になるので、之を巧みに運用する時は將來立派な金融組合が出來ることゝ信ずる。殊に此の組合が他の組合と比較して最も强味とする處は毎日現金にて相當の賣上げをなし得ることゝ組合員の異動が極めて稀れなることである。猶ほ三部は近く合同する筈である。

社會問題彙報

發展著しき各種右傾團體

混沌とした思想界に在つて左傾團體と右傾團體の對峙は久しい以前からの事であるが一ころ雨後の筍の如く現れた左傾團體は昨年の共産黨事件以來今日では殆ど鳴りを鎭めてゐる之れに反して右傾團體の最近に於ける發展は素晴らしいもので殊に米國の排日問題から益々勃興して來た警視廳高等課でも時に從つて流れて行く此の兩者の傾向に就いては絶えず調査して居るが夫れに依ると現在右傾團體中で最も著しき發達を遂げ將來もまた侮り得ないのは全國に三百萬人からの會員を有する在鄕軍人會で此處では先頃田中義一大將が副會長として就任しまた伊太利のムッソリニー謳歌者の蜷川法學博士が入つてからは從來沈滯がちであつた會に新らしい空氣を呼び起し「英、米、獨各國は何れも在鄕軍人を國民運動の先導として居る如く我國でも全國の在鄕軍人を統一し須らく本會を國民運動の中心として行くべし」との新標語を樹てたうへ新たに指導部を設けパンフレットや講演に依て國民軍事思想を養成するとの事である。

上杉愼吉博士の乘馬會でも早大の軍事研究會の青柳篤恒教授と共に近く積極的な反動的運動を起すべく目下計畫中であるし更に六月中に發會式を擧げた一戸大將以下陸軍の將星を以て成る恢弘會、蜷川博士の奉公會、平沼騏一郎博士の國本社等でも夫々種々と勃興計畫を進めて居り此ところ反動團體は何れも大元氣であるが警視廳の岡田特高課長も「現在は全く右傾團體全盛の時代であるが夫れも以前の如く主義定見の確乎したものがなく直ちに暴力行爲に出づるが如き謂ゆる反動團體がだん〱尠くなり多くは智識階級の人々の集まつた團體である事が最近先づ變つた所の傾向であらう」と見て居ると語つた。

關東州内鮮人の相互扶助會

在滿鮮人を如何にして救濟するかの問題は啻に朝鮮統治の上からばかりでなく我が滿蒙發展の上にも重大な關係を有つた問題である國境より北滿一帶に散住する鮮人百萬人のうち正業あり恒產あるものは殆んど稀であつて彼等が生活難から轉じて不逞の徒となる結果は常に朝鮮總督府當局者や在滿各地の領事團を惱ましてゐる次第であるが幸ひにして滿鐵沿線並びに關東州内における在住鮮人は比較的穩健着實に正業に從事してゐるものが多く不逞分子などは殆ど認むることが出來ない然し彼等を救濟する方策は未だ立つて居ないし彼等も夫等の機關を有してゐない尤も滿鐵沿線には金融組合的のものがあり殖產銀行その他から農商資金の融通を計つて居るところもあるが關東州内に居住する一千人の鮮人は何等團體的機關を有しないので「相互扶助」の名目の下に鮮人會を組織しその本部を大連に置き支部を旅順、金州、普蘭店等に設置する目的で斯業の熱心家張宇根氏等から大連民政署にこれが設立許可を出願中である。

右につき大連民政署の岐部地方課長は「設立の趣旨は素より結構で當局としても州内居住鮮人の常態を知る上にも便利であり且彼等をして生活の安定を得させ農商業の發展を期せしむる階梯を作ることは頗る適切のことであらうと思ふ目下會則内容の査定中であるから不日許可の運ひとなるであらう」と云つてゐるが右鮮人會の中心人物である大連信濃町

の李尙賢氏と同氏方に滯在の在鐵嶺の張宇根氏は「關東州管內には約一千人の鮮人が居住して居まして其の六割は料理店で他は雜穀商事務員、勞働者であります是等の鮮人は全く何等の統一もなく從つて、各個人の營業上に尠からぬ不便を感じて居ます商業資金の如き日步五錢といふ高利で每日の賣上高で決濟して居るといふ狀態ですから何とか相當の機關を設けて金融の道も開き彼等の利便を增進しその他相互親睦の實を擧げて在住鮮人の統一發達を期したいと思ひ鮮人會なるものを組織しやうと云ふのであいます」と語つた。

公營住宅法制定の要を具陳

帝國經濟會の社會部では目下住宅問題が與味の中心となり賀川豐彥氏なども之について眞劍の態度で研究を進めようとして居るが大阪市社會部でも豫て社會施設の一として市營住宅を經營し十三年度以後は一層この方面の充實に努めやうとし旣に共同宿泊所・月賦販賣住宅などの計畫を進めつゝある次第であるが一方現在の借地借家法が制定された結果として一般借家人が經濟上の不利を蒙ることとなり地主家主側にとつても此の法規が手枷となつて思ふやうに住宅經營が出來ないといふ立場に陷つてゐるのを見て社會部の里村庶務課長等は甚だこれを遺憾とし殊に公共團體の住宅經營に對しては此際公營住宅法を制定し現在の法規から免れしめ自治體の權限によつてそれ〴〵自由に經營が出來るやうにされなければ噓だといふ意見を持つてゐるが今度その見込みが立つたのでいよ〳〵右の趣意を意見書として近く之を帝國經濟會へ差出さうとして居る之れにつき里村氏は語る。

借地借家法が制定されて一般借家人にはこれ迄にない權利が認められて來たけれども一方經濟關係の保護が薄くなつて事實自分達の生活が脅かされる結果となつたのは甚だ遺憾である從來借家の敷金は三箇月が普通とされてゐたのが近頃は最低六箇月中には一箇年分といふ甚いのがあつたりして之がため困るのは借家人ばかりである此の原因は借地借家法が出來て家主としての手續が至極面倒を加へて來たので氣の利いた家主は一般に新築を差控へる傾向になり此間家を建てるものがあつても何れも利慾一方の企業家化して來たため結局借家人がこの犧牲となつて經濟上不利の立場から免れない事になつて了つたのであるツマリ社會立法が權利伸長にのみ偏して結局は弱いもの虐めとなつた譯である故に是等の缺陷を救ふ意味において此際公營住宅法を制定し公共團體の住宅經營に對しては借家人を保護すると共に公共團體に適當の權限を與へて公營住宅を何處までも出來得るだけ發展させるといふ方針をとつて貰ひたいので近く自分一個の意見を取纏めて有司の參考に供したいと考へてゐる次第であると。

婦人纏足禁令に就いて陳情

六朝時代の餘弊は延いて今日に及び支那二十一行のうち兩廣地方を除いて古來到るところ婦人にして纏足せざるものなき光景であるから天災地變若くは戰爭等の發生したる場合婦人は身を以てこれを遁る丶能はず之が爲め非命の死を遂ぐる者の多きは何人も目睹する所であるが併て深く人心に浸潤する此の惡習は容易に除去する能はず淸末より今日に至るまで支那政府は地方官を督勵して纏足を禁止せしめんとしたるに文化の程度比較的高き南方の通邑大都には漸次その弊を自覺し遂日此の惡習を矯正せらる丶傾向あるも北支那殊に東三省の如きは地勢僻りに一方に僻在し一般の風氣容易に開けざる爲め現在尙は依然として幼女に纏足せしめ却つて之を得意がるものの多きは寧ろ甚だ憐むべき事であ〳〵。

耶蘇教主義を以て本領とせる安東青年會副會長李郁文氏深く慨する所あり過般東邊道尹及び安東縣知事等に對し悲痛なる陳情を贈り社會人道の爲め迅速禁令を設けて纏足を禁止し(一)纏足の女子は學校に入ることを許さず(二)男兒を勸誘して纏足の女子と結婚せしめざること(三)同時に警察及び保甲をして各戸に就て其の父兄を勸導し十二歳以上二十歳以下のものは二箇月の猶豫を與へて纏足を解かしめ又十二歳以下にして已に纏足するものに對しては即日これを解かしめ若しこの期間に於て纏足を解かざるものあらば之れに罰金刑を科し而も尚ほ禁令を奉ぜずして依然尚ほ纏足する場合は其の父兄を處罰すること等の私案を之れに添ゐて提出したさうだ。

借地及び借家臨時處理法案

七月七日の議會に提出された借地借家臨時處理法案は議會を通過すれば直ちに實施される筈であるが此の法案は昨秋震災以來震災地域の地主及び家主對借地借家人との間の絶ねず紛糾が續けられて居たのを一掃する爲めに出來たもので今後は此の法が弱者の味方となつて思ひ儘の横暴を極めてゐる鬼家主や悪地主連には閻魔の一睨みとなる譯であつて相當効力のある事であらう之れに就いて法案提出の本元たる内務省社會局では語る。

この法案は司法省で立てたもので二十箇條もある之れによると地主や家主が裁判所の調停委員會の呼出を受け正當の理由なく出頭せねば五十圓以下の科料に處せられ地代、家賃敷金の他一切の條件が不當の時は各區裁判所の鑑定委員會が時價相當の額で大體を決定し既に借家人が不當の金を取られてゐた時は不當分だけ返濟させることが出來る更に將來バラツクから本建築に移るとき今迄より桁をはづれた家賃を要求された場合は此の法を適用しまた區劃整理で換地處分をされる時はそれが同じ家主の建てた家ならば借家の優先權があるそれに從來家屋を登記して置けば借地權も承認されてゐたのを昨年の震災の様な時は地上權も滅茶／＼になつて了つたが今度は法の力で保護されることになる何れにしても弱者を保護するものであると因みに此れは大正十五年一杯まで震災區域に活用されるのであるが將來においても全國的に斯うした法案が必要であるとの意嚮を漏らしてゐた。

滿鐵の能力増進施設と研究

作業上並に執務上において能率増進を要求する聲は今や内地においては喧しく宣傳され大會社大工場は勿論官衙當局でも夙に其の必要を認めて能率増進に關する機關を設置し又は係員を置いて研究調査を進めてゐる滿鐵に於ても夙に能率増進は事務の進行及び經濟上至大の關係あるに鑑み之が研究の必要は十分認めて居たが今日まで未だ專門的に之れが調査研究の運びに至らなかつた然るに今回技術研究所では作業上に於ける能力の技術的研究をなす目的を以て動作研究のサイノクログラフ其他之れに附隨せる各種機械類を購入することゝなり目下其の手續中で設備の整ひ次第作業上に於ける動作其他の試驗を行ふ筈で尚ほ一方には此の研究を動機として會社内に能率研究課を設置すべしとの意見が一部の技術者に依つて盛んに叫ばれてゐる。

其の主旨としては能率増進は滿鐵の如き尨大なる各種事業を經營する會社に取つて最も重要案件であつて且鐵道及び工場鑛山等に於ける多數の現業員を使用するものにあつては殊に然りである之れは内地の各會社工場等が今日競ふて之れに關する專門的研究を行ひ相當效果を擧げてゐる實狀に照らしても明かである例へば鐵道又は工場の勞働に從事する現業員が假りに現在の一％の能率を増進し得た

さしても鐵道又は工場全體に及ぼす影響は多大なもので延いては會社經濟に甚大の關係を來すのである現在では是等の現業員の働きには幾多の缺陷があり無駄があるから是等を一掃して眞に作業能率の増進を圖ると共に會社の經濟にも利得を來さしむるため專門的に之が研究機關を設置すべしといふにある。

西公園に對する不平の聲

散歩季節になつて永い間棄てられてあつた西公園の杜も拾ひ上げられたやうな趣があるそれと同時に市民が公園に對する不平の聲は再び然に上らざるを得ない一市民は「今日の都市で公園を持たぬ都市が何れの國にあらうか大連の西公園は公園と言へば公園であるが眞の公園をなして居らぬ誠に情ない有樣で他に對しても恥しく内に顧みて寒心に堪へぬものがある見よ人心は日に文化の病弊に荒み美しい情緒と正義とに遠ざかつて行くではないか過般内地見學を終へて歸つた營口支那人商業學校學生一行が日本内地の日本人はあんなに思ひ遣り深く親切なのに滿洲に居る日本人は何うして我利々々なのだらうと不思議がつて居たのも當然である此の恐るべく忌むべき氣風は何處から發生するのであらうか。

或者は此の傾向を理智的に試さんとする樣である夫れも一つの方法に相違ないが我々は美しく偉大なる自然に依つて心性の陶冶を思ふこと切である思想の善導等は内地の一部者にのみ用ゆべきもの丶如く思ひなして居る關東廳は何處までも暢氣に構へて西公園改造說の實行も中々やらない漸く一萬圓位な資金を民政署に突き付けて納まつて居るのは笑ふに堪へた事である午砲山の松樹の如き全くの植林風で何等の趣を持たぬ美的改造を加へれば他に誇るに足りる大公園ともならうものを廿年前の軍政時代同樣の有樣で置くとは何と恥かしい次第ではないか風紀上及び治安上から見ても眞暗闇の公園は一日も早く葬り去らればならぬ必要がある」とその通り〳〵。

全國的に行ふ勞働統計調査

內務省社會局統計課では從來我國における勞働に關する統計が甚だ幼稚なもので官廳で調査したものは尠く縱令有つても特殊の目的によつて實施された部分的の調査に過ぎないところから本年十月十日を期して正確な權威ある統計を調査し勞働問題に對する解決施設に資し國策を決する唯一の指針とするといふ事だ此種の調査は歐米にては早くから着手されて英國の賃銀一齊調査や獨逸の賃銀給料一齊調査など有名なもので今回の擧は我國に於ては全然新しい試みであつて本年を第一回とし以後は三年毎に實施する筈である調査の期日を十月十日としたのは事業の繁忙期を避け勞働者の移動の少い時を選んだのであつて全國の工場及び事業主と勞働者に就いて出來るだけ夫々綿密に調査するのである。

工場は工場法の適用工場と否とに關せず十月十日の現在で卅人以上の勞働者を使用するものをダテマイとするが例外として棉糸紡績業及び麻糸紡績業等大工場を形成するものは三百人以上を使用する工場に對してのみ調査する製糸業、セメント製造、船舶車輛製造工場等は百人以上を使用するもの活字製造、眞綿製造、火藥製造工場の如く小なるものにあつては特に十五人以上を使用するもの又鑛山も十月十日現在で五十人以上の勞働者を有する鑛山（附屬の工場を含む）鑛業法及び砂鑛法の適用を受けてゐるものについて職工、鑛夫、人夫即ち工場や鑛山の作業に從事する常傭と臨時傭の別なく一切の從業者（但し門衞小使、給仕は除外する）に對して各種の調査をなすもので要するに此の統計調査は國勢調査にも劣らぬ大事業であるといふ。

大連市の市場と職業紹介所

大連市役所は七月廿三日社會事業委員會を開き大正十三年度において簡易保險積立金十萬圓を借入れ之を市場及び職業紹介所建築費に充て爾後二十ヶ年間に償還すべく其の豫算案を一應市會提案前に協議することになつた市營市場建築費概算は金三萬二千圓であつて其の內容は市場店舗及び合宿所三百二十三坪同廊下九十四坪で店舗は外部七戶、內部二十五戶、合宿所(二階)一戶と云ふことになつて居る而して場所は寺兒溝の入口千代田町の東端で元遞信局官舍用地を市に貸下げて貰ふことになり主として支那人店舖向に建造される這は從來同地に支那人側の露天市場が道路の兩側若くは空地に散在せるを衛生上の見地から改造される事となつたのである。

職業紹介所は現在の西廣場の建物が衛生組合、市役所、市立實科女學校等に使用した木造家屋であるため最早改造せねば危險に瀕して居るので茲に市は市營住宅費の中より資金を支出して市民館を建設すべく計畫し市會の反對に遭ふて撤回せるため他に適當の敷地を選定のうへ市場と同時に低利資金の運用に俟つ事となつたもので曾て電氣遊園下の空地を物色したが民政署側が贊同しなかつたため延期されつゝあつたところ今回は伏見臺方面において物色中である建築豫算は金六萬八千圓で本館四百三十二坪、職員住宅乙二戶四十六坪、傭人住宅丁二戶三十三坪、其他附屬物置等を包含される因みに香爐礁の華工宿舍は支那部落の撤退整理其他に尙ほ多少の時日を要するので本年の建築は結氷期に近づく關係上恐らく困難だらうと觀測されて居る。

大阪府に衛生會館の新設

乳兒死亡の高率や肺結核の蔓延を始め凡てが非衞生のドン底に苦しめられてゐる大阪市民を衞生的に救ひ出さうと云ふので大阪府では來年度の事業として十五萬圓を投じ衞生會館を新設することになつた今日では法規による他動的の衞生行政が消極的に行はれて居るばかりで其の效果は問題にならぬので民衆生活と密接な關係のある個人保健衞生の指導改善と衞生思想の啓發に盡し此の自發的保健衞生の積極的行政を試みるのが此度の企ての根本で總ては衞生課で計畫されてゐるが愈々出來上ると宣傳、敎育、指導の三部を置き同時に圖書館を經營し衞生圖書の出版紹介をも行ふ筈である各部でやる事業は左の通り。

宣傳部には常設衞生展覽會を開催しパンフレット、ポスターを配布し活動寫眞を開催し家庭用衞生、藥品、化粧品の紹介を主な仕事とする敎育部では家庭衞生講習を開いて主婦として必要な家庭衞生智識を授け姙產婦、乳小兒、結核患者等のために家庭訪問をさせ猶ほ看護婦の養成と產婆の補習敎育と姙產婦育兒衞生講習を開き家庭の人として必要な傳染病患者取扱の智識を得せしむるために其の講習會も開催し運動體育の獎勵普及と目下各學校で應急處置のため雇つてゐる衞生婦の講習會をも開く筈である又指導部では家庭訪問の看護婦を置き各家庭を訪問させ姙產婦の心得母體の保健、乳小兒の育て方、結核患者の注意等を指導し一般から輕視されてゐる寄生虫驅除の指導もさせる其他姙產婦育兒の相談に應じ一般衞生上の質問を歡迎し之を親切に指導する筈で尙ほ同館の建設と共に衞生課は增員を行つて完璧を期するさうである。

堅實に進み行く勞働者敎育

勞働者の解放運動には正しい知識を與へなければ可けないと云ふ勞働者敎化は各組合で唱へられて居た事であるが斯うした傾向は特に今年に至りて多く然もそれは從來の如き事

命的思想教育ではなく須らく組合勞働者には正しい政治經濟學を普及せしめ以て階級意識と組合智識を與へたいと云ふ穩健着實なるもので此の目的の爲めに今夏講習會を開催した組合が大分にある警視廳勞働係りの調べた所によると先づ勞働總同盟では政治研究會を組織して在京各支部に於て日程を定めて毎月二日一回宛開催する其の講師は鈴木、赤松、莊原、村島の各幹部で賀川豐彥氏も勞働運動に關して感想を講述する筈である一方機械聯合本部では大森瓦斯電氣の技友會と共にフエビアン協會の主催で七月七日から向ふ四週間夏季講習會を開いたが之には國際聯盟協會の淺利順四郎氏や婦人勞働運動者の市川房枝女史等が講師の顏觸れの中にあつた猶ほ山崎今朝彌氏方、本所向島公民社、同三笠町純勞支部等でもそれ〲勞働者のみの講習會を開き大いにプロレツトカルトの實績を擧げる筈で男以外に若い婦人勞働者の參加も多數にあるらしいとは大分進んだものである。

小學兒童の夏季海濱聚落

滿鐵では沿線に於ける各小學兒童の保健及び修練を主とし且娛樂上の趣味を養成するため例年夏季に於て星ヶ浦海濱聚落を開いて來たが本年も恒例に依つて七月十五日から八月十二日まで開催する事となつた其の第一回は七月十五日から同月二十八日まで第二回は七月三十日から八月十二日まで何れも十四日間で參加兒童は沿線小學校尋常五年以上高等二年迄の男女兒一千人とし第一回は奉天以北及び撫順の各小學校、第二回は奉天以南及び安奉線の各小學校兒童各五百名宛を收容する筈である其の第一回は已に終了したが七月には暴風雨があつて之がために多少惱まされた樣である併し兎に角無事に濟んだ。

參加を希望する兒童に對しては出發前學校醫が身體檢査を行ひ結核、トラホーム、腎臟炎、脚氣、心臟病、癲癇、中耳炎、傳染病等の病氣ある者は不合格とし收容兒童の日課としては水泳又は水浴、繪畫の練習、寫生、音樂等で期間中は兒童の指導監督をなすため沿線小學校長中より二名の主事を囑託して實務を司らしめ其他各學校からは兒童二十五人に對し一人の割合を以て附添教師を選擇し猶ほ水泳教師及び醫師一人宛と看護婦二人を囑託して兒童の衞生保護の任に當らしめる收容場所は溫泉ホテルを以てこれに宛て食費は兒童の自辨で寢具、食器、復習用具、海水衣等は各自携帶せしむる事になつてゐる。

林間學校と其の補助計畫

病弱兒童で普通の學校へ通ふことの出來ないもの、ために設けられて居る「林間學校」は獨逸で創始され次で英佛等に及び米國は四五年前から實施して今では盛んである然るに我國では大正七年頃からそろ〱聚落式で行つてゐたに過ぎず其の進步も遲々たるもので林間學校として各種學校の一ッたる體裁を備へてゐるのは相州茅ヶ崎の林間學校があるのみだつたが本年八月末千葉縣富浦に開かれる富浦林間學校が赤十字千葉支部と同縣の衞生會の出資で新設されることゝなつた。

文部省の調査によると學校の體を成して居るのは右二校に過ぎないが聚落式のは府下玉川と千葉縣一ノ宮のを始めとして年々に增加しつゝある其の增加率を示せば大正七年七百七十一、同八年一千六百七十九、大正九年二千一百三十二、大正十年八千餘で殆ど加速度に增して居るソコで文部省では國民保健及び教育獎勵の意味で補助金の新制度を立てる計畫をして居るが之まで議會に掛ける前に大藏省で削除されたので十四年度には此の文化施設を完全に導くため新たに豫算を計上して今度の通常議會に提案するさうである。

追隨文化

◆我國の今日の文化は丁度西洋种の花卉のやうなもので花の色の方が勝つて居る◆見てくれは可いが確かりして居ない東洋在來の菊のやうな强味と幽玄味が乏しい◆柳は綠花は紅なりで國家にも民族にもそれ〲の特色と歷史があるのに我國の今日の文化には其の特色が現はれて居ない◆それは一意歐米の文物を輸入しその模倣と請賣りに努めそれが根本の國家性と民族性とにまだ充分同化しないで迂路付いて居るからである◆思想でも學術でも經濟組織でも歐米のそれを眞似てゐるだけで本領と云ふものが少しも無い◆科學とそれを基調とした物質文明は歐米のそれに及ばぬ所が多いから今後も多々益々輸入し模倣すべしだが惡いところまで眞似るには及ばない◆歐米のものは悉く優れて居ると考へ舶來品は値が高いだけ質もいゝと思つて一概に彼を崇拜するのは謂ゆる妄信だ◆斯うして歐米文物の尻ばかり追つかけ追隨是れ事とする樣なことでは何時まで經つても歐米の後塵を拜しその驥尾に附して步くだけで頭の上り樣がない◆王政維新當時の志士浪人のやうに外人を夷狄視し外國品を排斥し野郎自大以て攘夷を叫ぶのは好くないが今日のやうに歐米にばかり重きを措く樣でも困る◆伊藤公が鹿鳴館でダンスを遣つた時が歐洲崇拜の絕頂だと言はれたが其後も歐米崇拜熱は少しも衰へず歐米の物とさへ云へば味噌も糞も一緒にして難有がる◆思想界の現狀も全然歐洲主義だマルクスだクロポトキンだと彼等の說を請賣りする計りで眞にそれを咀嚼し玩味して薰蕕良匪を甄別する自主力がない◆善い所を採つて惡い所を捨てるそれが採長補短の眞諦であるが味噌も糞も一緒にして模倣追隨するに至つては論外だ◆嘗て或者が歐米漫遊に上るとき『歐米にも光明面と暗黑面とがある其の兩面を嚴正に見透して呉れ美人必ずしも善女ならず歐米の文物に恍惚として惚れ過ぎては困るよ』と語つて其の行を送つた事がある◆謂ゆる洋行したもの或は外遊者の大多數は足一たび歐米の地に踏み込むと忽ちその色彩の强い物質文明に眩惑せられ一種の催眠術に罹けられて參つてしまう◆その結果は歐米崇拜となり其の歐米尊重の念は東洋蔑視の念となり東洋人でありながら同じ東洋人たる支那や印度の民族を劣等視する樣になる◆又この觀念は歐

米文物の研究にのみ走らしめ東洋の思想學術を疎略に扱ひその固有の長所優所までも捨てゝ顧みないと云ふ恐しい偏見邪道に陷らしめる◆英語をペロ〱喋るものはあつても支那語を滿足に話し得る者は少い歐米の蟹行文字に親むものはあつても東洋の象徵文字や印度のサンスクリットを知るものは尠い斯うした片寄つた結果にもなつて了ふのである◆漢字は厄介だ之を減らすのは可い羅馬文字も可からう何事も忙しく慌たゞしくなつた當節文字に餘計な頭を使ふのは稽ゑ物だ◆そこで日用文が漢字少なの假名澤山の口語體になつたのは當然で支那にも斯うした傾向が著しくなつて來た◆併し實用とか間に合はせとか云ふ利便主義にのみ傾くと何事も薄ッぺらな物になつて了つて一時役立つだけに過ぎない◆此頃の日本の商品がそれで鳥渡役には立つが健實味がない粗製濫造物も多い人間も鳥渡間に合ふだけで人格の高い奧行きの深いものは尠くなつた◆我國の今日の文化が西洋花卉のやうになつたのも怪むに足らぬ胡瓜や南瓜の仇花のやうに花だけで實がなくては駄目だ◆民族性の健實な英國人は今でも希臘や羅馬の古典文を大學の一部に置いてゐる當世に役立たないでも昔の物にはヤハリ何處かに良い處がある◆それを保存しその良いところを汲み取り絶ゑず源流に溯る事によりて文化の根が堅まり仇花でない實の結ぶ花も咲くのだ◆俗に骨董品と云はれる古器物の多くは飾り物で當世の實用には向かないが今出來の間に合はせ物より遙に優つてゐる◆惡い傳統や因襲は惜氣もなく掃溜めの中に捨て去るべしだが古來の傳統や因襲にも良い處があるから一概に排斥してはならぬ◆國粹保存といふ事は必要だ國粹は國粹として保存しそれに他の文化の長所を植ゑ付けて始めて新らしい根もあり果もある活々とした文化が創造されるのだ◆追隨や模倣はモウ好い加減にして國粹を發揮し國粹に他の文化の優所を調合して新文化を創造せよそれは正しく我が日本國民に與ゑられた天の使命だ◆同時に支那や印度の固有文化にも注意を向けその研究に勵み東西文化の長所優所を折衷した新文化を創造すべしである◆西洋風の應接室と疊の座敷を兼用し洋服と和服を迭み代りに着用する現代日本人の生活には何等の特色がない◆此の過渡期を經過した後でなければ新文化の肇造創掓は恐らく不可能であらう。

何が豪い乎

◉落語家の三遊亭圓右が牡丹燈籠で一段と名人になつた圓朝の後を繼いで此の秋には二代目圓朝となると云ふことだ◉此の圓右は今の加藤首相がまだ在野黨の首領であつた昨年の夏頃その輕井澤の別莊に行つた◉そして舌三寸で食つてゐる口まめな彼は加藤さんと色々浮世話しをした後ちよつと妙な仕草宜しくあつてから◉『あなたも私も同じ萬延元年生れですが貴方は總理大臣にもなれる器量がおありだのに私は何時まで經つても落語家です』と言つて妙な悲觀顏をした◉すると加藤さんは『イヤさうで無い加藤の代りは幾らもあるし將來も續々出來るが三遊亭圓朝のやうな落語家は後が鳥渡出來まいお前もなか〳〵名人だ』◉と加藤さんには珍らしい樣子のいゝ事を云つて『落語家でも圓朝のやうになれば豪い實に尊いものだお前は來年その後を繼ぐと云ふ事だから折角精を出しなさい』と圓右を激勵したさうな◉總理大臣になる人間が一番豪いといふ道理はない總理大臣になつて立派な政治を行へば豪いと云へるが唯總理大臣になつた丈では駄目である◉小大臣でも伴食では難有味がない大臣になつたから豪いといつて伴食までも持て囃すやうな低級の民智では頼母しくない◉それよりも落語にせよ義太夫にせよ浪花節にせよ一代の雄となつて前人未到の地を開拓した者の方が豪い◉女義太夫では東京の綾之助と大阪の呂昇とが現代の雄だらう所謂藝人も斯うなると貴い◉角界に雷名を轟かした常陸山が水戸人に煽てられて一時代議士にならうとしたのは心得違ひであつた明治の日の下開山横綱で彼の値打は充分である◉新講談家の伊藤痴遊は元と自由黨の壯士だつたので政治界に野心を有つてるらしいが彼も新講談家で押通す方がいゝ◉政治家は政治家、實業家は實業家、學者は學者、藝術家は藝術家それ〳〵に其の細張内においての一方の雄となれ◉鷄口となるも牛後となる勿れといふ古語があるが人には各自天分といふものがあるから大なり小なり自分に適した仕事に精を出して其の奧義を極める事だ◉門に入つて堂に入らぬやうな笊棋黨は駄目だが何でも圖抜けて一流一派を開拓し創造したものは豪いと云へる◉凡々たる民衆は唯食つて活きて居るだけだが其の雜草の如き間からも秀でた正しい力強いものが出るだらう。



流浪する男女

在東京　小谷白汀

（俺の樣なものにでも尾行が附く………、お可笑しいなア、何うしたと云ふのだ。何も革命運動に加はつて居ると云ふではなし、たゞこの俺一個の生命を支ねて行くために、世間とは一寸變つた生活をしてると云ふまでだ。俺は何も會社や銀行を荒らし廻つて居るのぢやない。一體俺の何處にそんな力があるか。俺はまた會社や銀行の內幕とか缺點とか云ふものについては殆んど智識がない。俺にはそんな屑のやうな事を驗べてる暇はないのだ。一體會社や銀行の重役なんてねものは馬鹿計りだなア。この青二才の俺の何所が怖くて金を出すのだらう、ハッハッ、、、、、、俺をば大正の無賴漢だと思つて居やがる。社會主義者、大正の無賴漢ハッハッ、、、、、、お臍でお茶が沸くと云ふところだ。

島田修一はこんな事を考へながら仰向けに寢て大の字になり、汚ごれた浴衣の前をハダけたまゝスパ〳〵と心地好げにバットの煙を吹かして居た。

（アヽ月末だ……）。また下宿料の事が頭に浮むだ。

（何處かからまた徵發かな）、と思つたとき、突然ガラッと格子戶の開く音がして

『島田君』ッと友人の大木の聲がした。

『オイ』と答ねると『居るかい？』と訊く。

『ウン』と力ない返事をする間に大木は早やドン〱と梯子段を上つて來た。
『何うしてるんだこの晝日中(ひなか)に？』
大木は斯う叱りつける樣に云ひながらドスンと彼の枕元(まくらもと)に來て瘦せた身體を下した。
島田『仕方が無いぢやないか』
大木『この暑ついのに能く寢られるなア』
島田『暑いから寢てるんだよ』
大木『何うだい掠(りやく)（金を強請(ゆす)ること）の方は？』
島田『暫らく行かぬよ』
大木『小遣ひはあるかい？』
島田『無い、綺麗なものだ、嚢中自ら錢なしだ』
大木『尾行は何うだ？』
島田『其後はまだ來ない樣だ』
大木『へね、もう彼れ是れ一箇月にもなるのに、まだ發見しないなんて、隨分間拔けだなア。然し君も何時までもさうした轉々流浪とい有樣では益々生活が窮迫する計りぢやないか。それぢや仕舞には紛れもない本物の强盜にでもなるより外は仕方がなくなるぜ』
島田『仕樣が無いさ、何うにかなるよ』
大木『暢氣だなア、僕の店でも君が社會主義者でなかつたら使つても好いつて云つてるんだがなア、謂ゆる罹災民に對する恩情といふ奴でさ』

島田『ハッハッヽヽヽ、世の中は兎角そうしたもんだ、親父は俺より年上で困るよ』
大木『久し振りで逢つたんだから、僕も給料を受ければ君の生活位は何うかしたいんだが、微力及ばずだ
然し小遣位は何うにかするから、まア此所に暫らく居給へ』
島田『有難う警察が許す間は居るよ』
大木『時に今日は君に頼みがあつて來たんだがねェ、一つ聞いて呉れ給へな』
島田『何だね頼みとは?』
大木『………一寸云ひ難くい話なんだがねェ、君の前では……』
島田『フム』と鼻であしらふ。
大木『………實はネ僕は昨夜店の御隱居を案内して魔窟へ行つたんだ………』
島田『フム』とまた鼻で挨拶する。
大木『そして非常に變つた女にブッ突かつたんだ』
島田『フム』と更に鼻を鳴らす。
大木『それがねェ、また大いに同情すべき所があるんでね、君は世間の事を能く知つてるから、一つその
女を助けてやつて貰ひたいと思ふんだ』
島田『フム』と益々鼻を鳴らす。
大木『何うだね、あまり氣乘りがしない樣だが、事柄が事柄だから、社會改造家としての君には何うして
も是非承知して貰はにやならんのだよ』
島田『フム』と大きく鼻を鳴らして『君が同情して居りや結構ぢやないか』

大木『まアそう皮肉るなよ、寢轉むだりして居ないで起きて眞面目に聞いて呉れ給へナ、僕は本當に此の問題の爲めに昨夜一晩中考へて寢られなかつたんだからなア』

島田『ハッハッ、、、、大變な熱心だね』

漸く島田が起き上るのを待つて、大木が語り出した所によると、彼れが今勤めてる神戸の店には今年七十を越した老人が居て、昨夜その隱居は日頃愛して居る大木を蔭へ呼むで色んな世間話をした末に、老人に似合はず華やかに笑ひながら、一つ温和しい若い女を紹介して呉れと云ふのであつた。尤もそんな事はこれまでも度々頼まれた事で大木は可成り暗黑な方面の通であつた。

老人と大木とは直ぐその夕方から家を出て三の宮附近のあるお茶屋へ入つた。大木は此家へ女を連れて來ると云つて直ぐ一人で出て行つたが軈て間もなく彼女を連れて歸つて來た。女は二十六になるけれども、小柄で、容貌は十人並で、着物の柄や着こなしが何處となく田舍じみて居た。それ丈け素人臭い何處かおつとりとして所があるのでスッカリ老人の氣に入つて了つた。

二人は其所で暫らく酒を飮むだ。女は少しも飮まなかつた。そして大分醉ひが廻つて來た頃、暫らく活動寫眞でも見て、それから旅館へ行かうと云ふ事になつて、三人揃つて人力車に乘つてその家を出た。車には人目を避ける爲めに深く幌が下ろされてあつた。

軈て七八丁も來たと思ふ頃、車は早や賑やかな活動寫眞街を走つて、間もなく大木の案内でとある常設館の前に轅棒を下した。同時に降り立つた先登の老人と大木とは後ろを振り返つて見た。すると驚ろいた事には女の車は女もろ共に影も姿も見ねないのであつた。早速車夫に方々を尋ねさせたけれども到頭分らなかつた。女が居なくては仕方がないので、老人は不平と不快との混ぢつた變な表情をして、恐縮して居る大木に

再び車を命じてすご〳〵と店へ歸つて來た。

大木は事情を探ぐる爲めに直ぐと女の家へ引き返へした。女は家に居た。そして話を聞くと、たゞ商賣が嫌だから中途から車夫に賴むで歸つて來たのだと云ふ事であつた。

女の餘りの平然さに、大木は驚きと不滿と半ばは同情と好奇とに充ちて、女を呼びながら勝手を知つた其の家の二階へ上つた。そして差向ひでゆつくりと女の話す所を聞いたのであつた。

女は廣島縣のもので、十五歳の時に神戸へ來て、或る貿易會社員の家庭に女中として入込んだ。所が二箇年ほど經つて後、主人は南米へ出張を命ぜられ、彼女も連れられて彼地へ行つた。初めは僅か一箇年で歸へると云ふ事であつたのが二年三年と延びて遂に九箇年も彼地に居た。所が昨年の震災で、會社は南米の支店を引揚げる事となり、主人一家も日本へ歸るので、彼女も連れられて歸つて來た。そして久し振りで主家から暇を貰つて東京の兄を手賴つて橫濱へ上陸したのであつた。

兄の家は生計が豐かならず、それに嫂が彼女を虐待するので、彼女は堪ねかねて故鄕へ歸りたい氣が起つたけれども、最初彼女は家を出奔したので、今更歸つて行く事もならず、思案に思案を重ねた上、南米に居た時から手紙を遣取りした友人の緣付いて居る家を尋ねて神戸へ來たのであつた。

尋ねて見ると、不幸にもその友人の良人は最近轉任を命ぜられて九州の方へ行つて了つた後であつた。無論友人もその良人と同伴して行つたので、彼等の住所はその會社で尋ねて分つたけれども、神戸から九州へまで行く旅費が最早彼女の囊中にはなかつた。そこで此所が覺悟すべき所であると、彼女は小さい胸にも堅く決心を定めて、獨立自活して行くべくとある口入屋の暖簾を潜つたのであつた。所がその口入屋は甘言を以つて彼女を料亭の仲居に住み込ませたが、料亭とは名ばかりで實は魔窟であつたので、約束が違ふと云つ

て彼女は極力反抗したけれども、女將は手を代ヘ品を替ヘて執念く迫るのであつた。
彼女は神戸へ來て早や二週間になつた。此間彼女は毎日物蔭で泣き續けて居た。
『何うかして一日も早く此の家を出たいのですが、外國に長く居たのでさつぱり事情も分らず、ほと／＼困つて居るのです、何うか貴方助けて下さいませ』
女は斯う云つて大木に縋るのであつた。
大木は斯う語り終つてから
『君この女を一つ何うかしてやつて呉れ給へな』と頼むので、島田も心を動かされた。
島田『それは君、警察の人事相談部へ連れて行つても好いし、或ひはまた市の社會課へ相談を持ち込んでもいゝ、救濟する方法は幾らもあるよ』
大木『ぢや萬事宜しく君に頼むよ』
島田『弱つたなア、僕はそんな事をしちや居られないんだ』
大木『であらうけど、君の活きた研究材料にもならうから、こゝは一つ奮發して、女に一寸逢ふだけでも逢つて篤ッくり話してやつて呉れ給へナ』
島田『僕が逢つたところで仕方が無いぢやないか、君自身で人事相談部へなり市の社會課へなり何處へなり連れて行つてやつちや何うだ』
大木『ウン、だけど何だか體裁が惡るくッてね』
島田『さうか、君は君自身の體裁の爲めに女を救つてやることが出來ないと云ふわけだネ、無理はないよ金で女を買はうとする位の人間だから……』

大木『こいつは甚いや、でも君の所へ話しに來るだけ偉いだらう』
島田『何でも好いや、で君にはそれが何うしても出來ないと云ふんだネ』
大木『ウン、人に知られちや店の信用にもかゝはるしねね……』
島田『分つた〳〵、それですつかり分つた、つまりコッソリ一人で魔窟狩りをやらうと云ふんだらう、……あゝ……然しその女といふのは可愛そうなもんだなア』
大木『ぢや逢つてやつて呉れるか?』
二人は其の夜連れ立つて、昨夜老人と大木とが始めて入つた料理屋へ行つた。大木は島田を置いて直ぐさま外に出たが、間もなく女を連れて歸つて來た。
女は靜かに二人の前に一禮して窮屈さうに坐つた。
大木『此の方に委しくお話しなさい、私が能くお願ひしてありますから』
大木は四角張つて斯う云つた。けれども女はたゞ微かに
『ハイ』と云つた切り默つて居た。
島田はキチンと坐つて、腕組みをしたまゝ、スパ〳〵と煙草を吹かして居たが、何時まで經つても女から何にも話さないので、少し焦れつたくなつて來た。そしてポツリ〳〵と女の過去について聞き始めたが、大體において大木から聞いたのと一致して居た。
女が語り終へるのを待つて島田は靜かに訊いた。
島田『ぢや何うしますか、今日この人(大木を顧みて)ともとつくり相談したのですが、警察か市役所か或はまた何處へでも貴女の望むところへ御紹介しやうと思ふのです』

そして救はれるべき色々の方法のある事を話した。所が案外にも女は唯だ島田が述べるのをジッと聞いて居るのみで、何とも自分の意のある所を語らず、そして最後に島田の言葉が切れると

女『妾、餘り遲くなると家へ惡るう御座りますから歸らして戴きます』

と斯う意外な言葉を吐くのであつた。島田は口を結んだなりジッと女の顏を見守つた。大木はトボケたやうな驚いたやうな妙な顏をして居た。暫らくしてから

島田『家へ惡いと云つて貴女はその家を出ようと云ふんぢやありませんか』

と島田は少しムッとして斯う云つた。

女『ハア、でも女將さんが非常に親切にして下さいますから……』

島田は馬鹿々々しくなつてもう口を開らく勇氣が無くなつた。そしてこれが魔窟の女の罠であつて、大木の馬鹿がそれに捕囚になつて居るのではないかと考へ始めた。

ポカンとしてゐた大木は、やがて斯う云つた。

大木『でも折角斯うして此の方にも來て頂いてるのですから、遠慮をしないで、貴女の望み通りを一應云つて、そして然るべく御願ひしては何うです』

するど女は大木の顏を見つめながら。

女『ハア有難う御座います、でも少しお話しが違ふ樣ですから……』

女はますく〱意外な事を云つた。之れはてつきり大木が女をだまして夫婦にでもなる樣な甘い事を云つたに違ひない、女の顏に出た不平らしい表情がそれを物語つて居る、と考へたので

島田『その話といふのは何んの話です？』と斯う突つ込むで見た。

女『イヱ、話といつた處で、それは太した事ではありません、何うでも好いので御座います。妾餘り遲くなると可けませんから、何うぞ早く歸らして戴きます』

女の言葉には怒氣をさへ含むで居た。島田も憤然とした。

島田『ぢや外の事は何うでも好いとしてその話が違ふと云ふ事だけを聞きませう』

すると女は何故かます〳〵我を張つて

女『妾、家へ濟みませんから、一寸位は好いのですけど、永く居ますと……』

斯う最後の言葉を濁して二人に挨拶した。島田は堪え切れなくなつた。

島田『少し待つて呉れ給へ』と女に言ふてから『大木君、君濟まないが、ちよつくら坐を外づして呉れないか、僕は此の女に内所で聞きたい事があるんだ』

島田はムキになつて斯うは云つたものゝ、女と自分を後に殘して出る大木の奴が變な不安でも抱きはしないか、また女も一人で不安かも知れない、で一寸要領を話す必要があると思つて

島田『多分結婚問題でせう、貴女は此の人と結婚する話でもしたんでせう』

圖星を指した積りで斯う云つて、どうだと言はぬばかりの顔付をして、彼れは大木と女の顔を見較らべた

大木は早や立ち上がつて居た。そして何だかソハ〳〵しながら

大木『ぢや貴女一人でゆつくり此の方にお願ひしなさい……』

と斯う曖昧な事を云ひながら階下へ下りて行つた。女は再び元の座に坐つた。

島田『あの人が貴女に結婚でも申し込むだのぢやありませんか』

島田は自分の鑑定の誤らなかつた事を一人心の中で誇りながら斯う尋ねた。
女『エヽ、ですけど、妾、何うでも好いので御座ります、色々と御親切に有難う』
島田『果してそれが結婚問題であつて、貴女もあの男も双方で滞りなく同意して居るのでしたら、愚圖愚圖しないで直ぐ結婚すれば好いぢやありませんか』
女『でも先刻、警察へ行つて相談しろとか何とか仰ッしやつて………それにあの方までが今更そんな事を仰つしやるのですから………妾もう何うして好いか分らなくなりまして………』
女はハラ〳〵と泪を流した。
島田『フム、そんな事は心配無用です、あの男が貴女に結婚を申し込むだのでしたら、屹度私が成就させて上げます。あの男が私の所へ來て貴女のことを話す樣子が非常に熱心で眞面目でしたから始めから實はそうかとも思つて居たのです。あの男は貴女と結婚したいのだらうけど恐らく一人で弱つて居るのでせう。よろしい、心配しましやう。然し貴女は借金はありませんか？』
女『イヽエ、ありません』。
島田『ぢや結構だ、私が後を引受けますから、今晩早速三人で盃を擧げませう』
女『………………』
島田はポン〳〵と手を打つた、そして先づ酒肴を命じ、次いで大木を呼ばうさした。ト殆んど同時に、階下から大きな足音を立てゝ、誰か驅け上つて來た。見るとそれは二人の刑事であつた。
刑『ヤア、君も居たのか、こいつア思ひがけない好い所で……、イヤ甚だ都合がいゝ、だが僕達を捲いて好い事をやるなんて、チト甚いぞ』

島田を知つてる一人の刑事が斯う云つてニヤ〳〵笑つた。島田は默つて居た。
刑『仕方が無いサ、丁度好い工合だ、一寸一緒に來て呉れ給へ』
島田は默つたまゝ立上がつた。女は傍で慄ねて居た。
刑『お前も來んかい、一體何しとつたんかッ』と刑事は皮肉らしく云つた。
女『何もして居りや致しません』
刑『嘘を吐けッ、兎に角警察まで來れば分る、俺は○○署の刑事だ』
刑事といふ聲を聞くと、何うしたのか女はさも驚愕したといつたやうな變な表情をして、顏面に見る〳〵妙な青筋を立てながら、少し慄ね氣味になつて
女『エーッ、警察?、そして此の方も行かなきやならないのですか?』
刑『何んでも好い、早くしろッ』
女『まア……あゝッ妾、何うしませう………』
女はバタリとそれへ倒れて泣き伏した。刑事はその方に眼をやると同時に島田の蒼ざめた顏を見た。家の外には折柄鍋燒饂飩屋が錆れた聲をふり絞つて通り過ぎた。





洋服細民の悲哀

裾野山人

木守達之助は專門學校を出た男だが、戀中であつたおマキと一家を持つてから、子供が後から後からと出來て、今は男二人、女三人の親である。某銀行に勤めてゐるが、至つて世才が乏しいので、進級が思はしくなく、課長にも主任にもなれず、唯の事務員であつて、月給は八拾圓ぽつきり。

大正八年の空景氣時代に投機虚業が盛り、土地家屋の轉賣が流行した結果、今まで二十圓で借りてゐた家の家賃が二十五圓になり、三十圓になり、遂には倍の四十圓になつたので、彼は堪らなくなつて東京市外の澁谷に移り、そこの六疊一間と四疊半一間の小さな家に住つた。それでも家賃は二十五圓だ。郊外生活など云つて暢氣(のんき)さうな顏をして居るものもあるが彼の一家はそんな氣樂なものぢやない。

物價もどし〳〵上る。二錢の玉子が五錢になり、鯛一尾が五六圓にもなると云ふ調子なので、木守一家のものは南京米の混つた下等米を食べ、十四になる長男を或官衙の給仕に出し、十六になる長女を某會社の職業婦人にし、妻のおマキはおマキで編物や賃仕事の内職に精を出し、さうして次男坊と次女とを小學校に通はせ、何うやら餓ゑずに暮らしてゐる。三女はまだ五ッのねんねいだ。

木守自身は辨當と風呂敷包みを抱ゑて、日曜日と大祭日の外は、降つても照つても毎日電車にブラ下つて會社に勤める。或る夕方へと〳〵になつて歸つて來た彼は

『今度○○婦人會といふのが出來て、お前とおキネ（長女）にも入會しろ、そして社會奉仕をしろ、と重役から話があつたんだがね、お前は内職で忙しいし、おキネも會社の勤めで精一杯だし、とても社會奉仕をする餘裕はないから、少し考へさして下さいと言つて來たんだがね、何うしたものだらう』

と頰骨の落ちた顔に暗愁を湛へて心配さうに尋ねると、妻は内職の手を休めて

『困りましたね、社會奉仕とかは一家の生活に困らない人たちのすることで、私たちには能きる事ぢやありません、一家の事情をよく重役に話してお斷りなすつて下さいな』

全くその通りなので、彼も斷はることに決心し、夕飯に友だちから貰つた赤玉葡萄酒の殘りを少しばかり飲んで、それから家の近所を十分ばかりブラ付いて、その夜は早く寢てしまつた。

その翌日は九月十日で、帝都に振古未曾有の大地震が起り、次いで大火災が起り、帝都の過半を灰燼に歸せしめたので有つた。木守はこの日も朝早く電車にブラ下つて銀行に出勤し、机に向つて簿記帳にペンを走らせてゐた時、ヅシンといふ大きな音がして、やがてグラ〳〵ッと來たので、行員一同と共に慌てくさつて外に飛び出したが、一應内に入つて必要な書類と帳簿などを自分の風呂敷に包み、盛んに搖れる間を辛うじて再び外に出た。すると早や一面の猛火で、紅蓮の焔と朦々たる煙が滿街に充ちて、その間を避難の男女老少が血眼になつて我れがちに飛び廻つてゐる。木守も生きた心地はなく、電車に乗らうと思つても電車が動かないので、猛火の煙に咽びつゝやつとの思ひで澁谷の自宅に戻つた。

戻つて見ると、家は潰れず、從つて此邊には火事も起らないが、妻のおマキは三女を抱いて附近の空地に近所のものと一緒に蒼くなつて顫へてゐた。次男と次女も小學校から飛んで歸つて來た。所が會社に勤めてゐる長女と給仕に出てゐる長男とは戻つて來ない。木守は妻と共にそれを案じた。併し長女も長男も日暮頃

に漸く歸つて來たので、やつと安心したが、彼の胸には今後の生活といふことが大きな問題となつて蟠まり不安の念が犇々と押寄せ、死にもまさる苦しい思ひに閉ぢられた。

不安は數日間續いた。彼は此間危險を冒して市中に出で、勤め先の銀行の安否やら、世話になる重役の家を見舞つたりしたが、何れも無難であつたので、彼は安堵の胸を撫で下した。

震災後の帝都には、急造バラックが出來て、復興氣分が見る〳〵内に漲つて來た。

『どうだい、素晴らしい勢ひぢやねヱか、俺のどんぶりの中には札束がごろ〳〵して居らア、一日十五圓たア近頃にねヱ豪氣なものだらう、手前はどうだ、ナニ十圓ッ！それでも三百圓にはならア、毎晩甘ヱ酒が飲めるわけだが、嬶アめが少し增長しやがるには閉口だ、ハッハヽヽヽ』

木守が銀行から歸つて、一風呂浴びやうと近所の錢湯に行つた時、大工らしい勞働者が熱い湯に浸りながら、相手の男に斯んな話をしてゐるのを聞いて、彼は急に妙な氣が起つて、匆々に湯屋を飛び出し、家に戻ると、夕飯の箸を取るのも懶げさうに、ホーッと溜息を吐いて

『おマキ、此頃は全く勞働者の世界になつたよ、サラリーマンは顏色なしだ』

出し拔けの話におマキは妙な顏をして

『何うしたと仰しやるんです、また心配事でも起つたんですか』

『ナニ心配事ぢやない、今湯屋に行つて聽いて來たんだがね、此頃は大工でも月四百五十圓位な收入があると云ふことだよ、學校でさん〳〵勉强して、さて社會に出た私が今猶ほ八十圓の收入で、お前を初め娘や息子に働らかせて、やつと一家の生計を立てゝゐるのが馬鹿らしくなつた迄サ』

『さうですか、道理で近所の左官やのおかみさんが大變めかしこんで居ましたッけ、時世時節で仕方があ

りませんわ、そんな事に氣を腐らさないで、貴郎しつかりして下さいよ』

妻に勵まされて木守は氣を取り直したけれども、何だか急に世の中が面白くなくなつて、馬鹿々々しい樣にも思はれたので、その晩、彼は滿洲の或友人に一封の書簡を書いて出した。

その書簡には、震災後の東京は勞働者の世界となりて益々我々の如き智識階級者の生存に適せぬ樣になつた、就いては、滿洲に往つて一ツ働いて見たいと思ふから、大連あたりの銀行に世話して吳れ、會社でも惡くはない、滿鐵なら申分はない、是非心配賴む、と斯う云ふ事を書いたのであつた。

約一週間ばかりして返事が來た。木守はこの友人からの返書を手に取るが早いか直ぐに披いて見て、二度ばかり繰返して讀んでゐたが、又ホーツと云ふ大きな溜息を吐いた。側でせつせと內職の賃仕事をして居たおマキは、良人の溜息を聞くと、これも心配さうな顏をして

『どんな返事が參つたんです？滿洲もやはり思はしくないんですか』

『ウン、この返事によると、滿洲も大連を初め非常な不景氣で、銀行も會社も人減らしをして居る有樣だから、とても適當な就職口はない、心配はして見やうが、斯うした狀態だから、責任を以て引受ける譯には行かない、時が惡い、斯樣な時には何よりも辛抱が第一だ、と斯う書いてあるよ。

『マア、それでは仕方がありませんね』

夫婦も終に觀念して了つた。そして木守は相變らず電車にブラ下つて市中の銀行に通ひ、おマキは內職の手を休めず、長女は職業婦人、長男は給仕となつて一家の生計を立てゝゐる。

× × × × × × × × × × ×

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

●勞農政府の運命………… 滿鐵哈爾賓事務所調査課

●中華民國政治組織綱領…………

●滿洲に於ける製粉業…………○○○○○○

●滿洲の森林…………○○○

●黑龍江省（上卷）…………○○○○○○

●黑龍江及其支流の航運（上）…………○○○○○○

以上、滿鐵庶務部調査課

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、新生活、日滿通信、滿蒙、讀書會雜誌新天地、海友、滿蒙實業彙報、調査時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、聖德會會報、（以上は大連）◉大陸日日新聞、奉天新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟新報（以上は奉天）◉調査彙報（長春商議所）◉大乘（上海）◉青島新報（青島）、◉調査彙報（朝鮮總督府）、◉朝鮮地方行政、京城日報、朝鮮新聞、朝鮮及朝鮮人朝鮮及滿洲（以上京城）◉釜山日報（釜山）◉平南毎日新聞、平壤商業會議所月報（以上平壤）◉臺灣時報、臺法月報（以上臺灣）◉臨時產業調査局資料、滿鐵東亞經濟調査局經濟資料、東洋、支那、東京商業會議所所報、愛國婦人、人道、大東公論、週間日本（以上東京）◉紡績界（大阪）同志社時報（京都）◉東亞經濟研究（山口）◉福岡日日新聞（福岡）

毎月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

册數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割増

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十三年八月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大内四郎

印刷人　太田信三

印刷所　大連市大山通　小林又七支店

發行所（電話五四二六番）　滿洲社會事業研究會

大連市松山町五番地七號

振替口座大連一二三九番

輸出入、倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號　七一七一番

振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所

大阪、神戸、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部

一般倉庫業務取扱

大連市摩耶町十一番地
電話六〇六三番

保險

大阪海上火災、日本共立火災、豐國火災ゼノースブリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店

大正十一年八月十五日第三種郵便物認可
大正十三年八月一日發行（每月一回）